

計算社会科学研究センター 2021 年度活動報告書

(2021 年 4 月～2022 年 3 月)



CCSS
Center for Computational Social Science

目次

I. 計算社会科学センターの概要-----	P2
II. 組織の編成-----	P3
-1 構成と人員	
-2 研究部門と支援部門	
III. 最近における特記事項-----	P5
-1 ジャーナル刊行	
-2 計算社会科学の人材育成	
-3 大型科研費・外部資金獲得実績	
-4 若手・女性・外国人研究者の育成	
-5 データベースの構築と公開	
IV. リサーチフェロー-----	P10
V. 研究業績と活動状況-----	P11
VI. 今後の展望と方針-----	P66

I. 計算社会科学研究センターの概要

計算社会科学研究センター (CCSS: Center for Computational Social Science) は、社会科学、計算科学、データサイエンスの融合領域である計算社会科学における共同研究を推進し、計算科学とデータサイエンスに基づいた新しい社会科学としての計算社会科学の確立と体系化を目指し、世界的に同領域を牽引する国際研究拠点を形成することである。

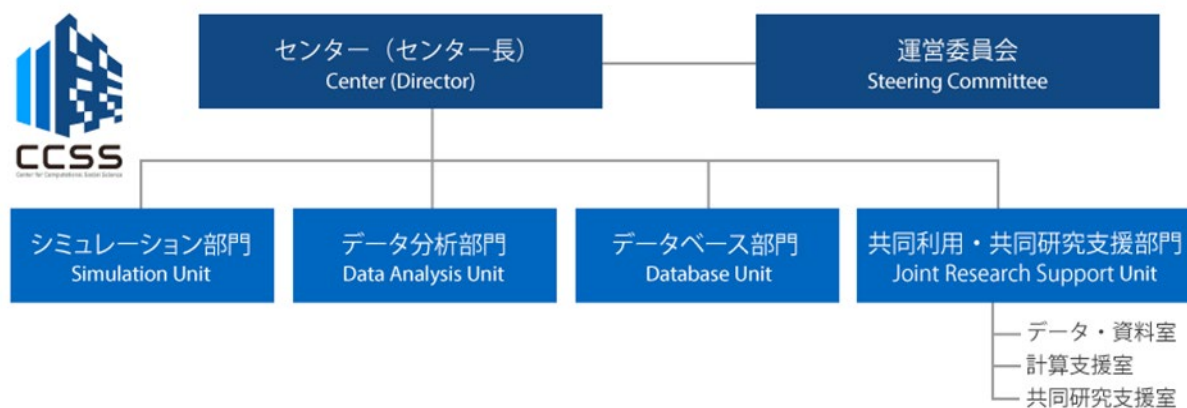
本センターは、2017年3月15日に経済経営研究所の部局内組織として創設され、2018年4月1日に全学基幹研究推進組織となる。

計算社会科学研究センターは、前述の目的を達成するために、シミュレーション部門、データ分析部門、データベース部門、共同利用・共同研究支援部門（2021年4月設置）で構成され、計算社会科学における先端研究、研究を促進するための技術開発、研究を促進するためのデータベース作成、その他学術研究の推進と普及のために必要な研究等に取り組んでいる。

計算社会科学は、近年急速に発展しているビッグデータや計算技術に基づく「新しい社会科学」である。オンライン上で取得可能なビッグデータ、コンピュータ・シミュレーション、ネットワーク分析を中心とした高度な計算技術を用いた社会現象の定量的分析であり、近年急速に発展している。本センターは、計算社会科学に特化した唯一の研究センターであり、他大学にない独自性の高いものである。

II. 組織の編成

-1. 構成と人員



運営委員 (2021年4月1日現在)

氏名	職位	部門	所属
上東 貴志	センター長 教授	シミュレーション部門	計算社会科学研究所
家森 信善	副センター長 教授	データベース部門	経済経営研究所
西谷 公孝	副センター長 教授	データ分析部門	経済経営研究所
柴本 昌彦	准教授	データ分析部門	計算社会科学研究所
中川 丈久	教授	データ分析部門	法学研究科
小林 照義	教授	データ分析部門	経済学研究科
栗木 契	教授	データ分析部門	経営学研究科
島村 靖治	教授	データベース部門	国際協力研究科
貝原 俊也	教授	シミュレーション部門	システム情報学研究科
大石 哲	教授	シミュレーション部門	都市安全研究センター

-2. 研究部門と支援部門（2021年4月1日現在）

シミュレーション部門

社会経済モデルのシミュレーションに基づく計算社会科学領域の研究を行う。

職位	研究者氏名		学域
教授	上東 貴志	Takashi KAMIHIGASHI	先端経済経営研究学域
教授	北野 重人	Shigeto KITANO	先端経済経営研究学域
教授	飯塚 敦	Atsushi IIZUKA	工学域
教授	大石 哲	Satoru OISHI	工学域
教授	貝原 俊也	Toshiya KAIHARA	システム情報学域
教授	横川 三津夫	Mitsuo YOKOKAWA	システム情報学域
教授	佐野 英樹	Hideki SANO	システム情報学域
講師	榎本 大悟	Daigo UMEMOTO	先端経済経営研究学域

データ分析部門

大規模データに基づく計算社会科学領域の研究を行う。

職位	研究者氏名		学域
教授	西谷 公孝	Kimitaka NISHITANI	先端経済経営研究学域
教授	中川 丈久	Takehisa NAKAGAWA	法学域
教授	栗木 契	Kei KURIKI	経営学域
教授	小林 照義	Teruyoshi KOBAYASHI	経済学域
特命教授	西村 和雄	Kazuo NISHIMURA	先端経済経営研究学域
准教授	柴本 昌彦	Masahiko SHIBAMOTO	先端経済経営研究学域
准教授	谷口 隆晴	Takaharu YAGUCHI	システム情報学域
准教授	加藤 諒	Ryo KATO	先端経済経営研究学域

データベース部門

計算社会科学に関わるデータベースの構築を行う。

職位	研究者氏名		学域
教授	家森 信善	Nobuyoshi YAMORI	先端経済経営研究学域
教授	島村 靖治	Yasuharu SHIMAMURA	国際協力学域
准教授	高槻 泰郎	Yasuo TAKATSUKI	先端経済経営研究学域
特命講師	小代 薫	Kaoru KOSHIRO	先端経済経営研究学域
特命講師	田中 克幸	Katsuyuki TANAKA	先端経済経営研究学域

共同利用・共同研究支援部門

職位	研究者氏名		所属
教授	伊藤 宗彦	Munehiko ITOH	データ資料室
講師	國本 光正	Terumasa KUNIMOTO	データ資料室
教授	濱口 伸明	Nobuaki HAMAGUCHI	計算支援室
助教	西森 茂雄	Shigeo NISHIMORI	計算支援室
助手	内田 並子	Namiko UCHIDA	計算支援室
教授	岩佐 和道	Kazumichi IWASA	共同研究支援室
助手	中田 未央	Mio NAKATA	共同研究支援室
助手	中井 あゆみ	Ayumi NAKAI	共同研究支援室

Ⅲ. 最近における特記事項

1-1. ジャーナル刊行

平成 30 (2018) 年 計算社会科学の国際的専門学術誌『Journal of Computational Social Science』を創刊。

神戸大学計算社会科学センター (CCSS: Center for Computational Social Science。以下「CCSS」という。) と経済経営研究所の協力の下で、平成 30 (2018) 年 1 月にこの領域において世界初となる専門学術誌『Journal of Computational Social Science』 (Springer 社刊 以下「JCSS」という。) が創刊され、上東貴志計算社会科学センター長が初代編集委員長に就任した。

計算社会科学に特化した世界初の査読付学術雑誌として、世界中から多数の論文が投稿されており、創刊から 3 年間で 8 冊発行、100 本以上の論文を掲載している。計算社会科学の発表の場として既に国際的に広く認識されており、優れた研究成果を世界へ発信する場となっている。JCSS の編集委員は、世界的に活躍する 26 名の研究者からなり、その所属機関の位置する国は世界 14 か国に及ぶ。また掲載論文著者の所属機関国は 25 か国となり JCSS が世界的に広く開かれた国際学術雑誌であるだけでなく、国際的需要が極めて高いことも表している。

2020 年 JCSS は、Clarivate Analytics 社 (以下「CA 社」という) が 2015 年から新たなデータベースとして導入した Emerging Sources Citation Index (ESCI) に収録された。ESCI は、ジャーナルとして国際的な基準に達しており、かつ今後、質の向上が見込まれる学際的なジャーナルを集めたデータベースであり、2018 年 1 月の創刊間もない JCSS が収録されたことは意義深い。

引き続き、JCSS の Social Science Citation Index (SSCI) への掲載を目指している。

The screenshot shows the Springer website for the Journal of Computational Social Science. The page features a dark blue header with the Springer logo and navigation links for Search, Authors & Editors, and Log in. Below the header, the journal title is prominently displayed. A navigation bar includes links for Editorial board, Aims & scope, and Journal updates. A green notification box states, "You have access to our articles". The main content area is divided into two columns. The left column provides a brief description of the journal as an interdisciplinary peer-reviewed journal, lists the Editor-in-Chief (Takashi Kamihigashi), and details the publishing model (Hybrid/Transformative). A statistics box at the bottom left shows a median submission time of 52 days and 136,824 downloads in 2021. The right column is titled "For authors" and includes links for Submission guidelines, Ethics & disclosures, Open Access fees and funding, and Contact the journal, along with a prominent "Submit manuscript" button. Below this is an "Explore" section with links for Online first articles and Volumes and issues.

Web of Science Core Collection 引用索引ファイル			
収録源	引用索引ファイル名	略称	収録開始年
①自然科学分野ジャーナル	Science Citation Index Expanded	SCIE	1900
②社会科学分野ジャーナル	Social Science Citation Index	SSCI	1900
③人文科学分野ジャーナル	Arts&Humanities Citation Index	AHCI	1975
④現在は特定の地域で注目されている/発展が期待される分野のジャーナル	Emerging Sources Citation Index	ESCI	2015

ESCIからSSCIへの掲載を目指す ※情報管理2017.10 Vol.60 no.7 より抜粋

1-2. Journal Citation Reports 2022年版 JCSS の評価

CA社のJournal Citation Reports 2022年版が2022年6月に公開されたところによると、JCSSは「SOCIAL SCIENCES, MATHEMATICAL METHODS」に分類されており、SSCIで53誌とESCIで12誌、合計65誌となっている。

Journal Citation Reports 2022年版のジャーナル指標として、Journal Citation Indicator (JCI)があり、JCIは過去3年間(2019年, 2020年, 2021年)の引用の平均インパクト(Category Normalized Citation Impact (CNCI))を反映している。JCSSは、このJCIの指標で「1.17」という数値を獲得し、ESCI収録ジャーナル12誌中で1位である。また、JCSSが収録を目指しているSSCIジャーナルをあわせた65誌中、JCI指標で14位となっている。

Journal Citation Reports 2022年版より Journal Citation Indicatorの順位表(2022.8.24現在)				
順位	Journal Name	2021 JCI	JCI Rank	JCI Percentile
1	ECONOMETRICA	2.25	1/65	99.23
2	REVIEW OF ECONOMICS AND STATISTICS	2.16	2/65	97.69
3	Financial Innovation	2.11	3/65	96.15
4	SOCIOLOGICAL METHODS & RESEARCH	2.09	4/65	94.62
5	STRUCTURAL EQUATION MODELING-A MULTIDISCIPLINARY JOURNAL	1.80	5/65	93.08
6	Survey Research Methods	1.77	6/65	91.54
7	JOURNAL OF BUSINESS & ECONOMIC STATISTICS	1.75	7/65	90.00
8	Econometrics Journal	1.60	8/65	88.46
9	Stata Journal	1.51	9/65	86.92
10	Journal of Management Analytics	1.39	10/65	85.38
11	EPJ Data Science	1.33	11/65	83.85
12	MULTIVARIATE BEHAVIORAL RESEARCH	1.33	11/65	83.85
13	RISK ANALYSIS	1.30	13/65	80.77
14	Journal of Computational Social Science	1.17	14/65	79.23
15	Journal of Survey Statistics and Methodology	1.03	15/65	77.69
16	Empirical Economics	1.00	16/65	76.15
17	JOURNAL OF ECONOMETRICS	1.00	16/65	76.15
18	JOURNAL OF APPLIED ECONOMETRICS	0.95	18/65	73.08
19	MATHEMATICAL FINANCE	0.94	19/65	71.54
20	Statistics and Public Policy	0.91	20/65	70.00

2. 計算社会科学の人材育成

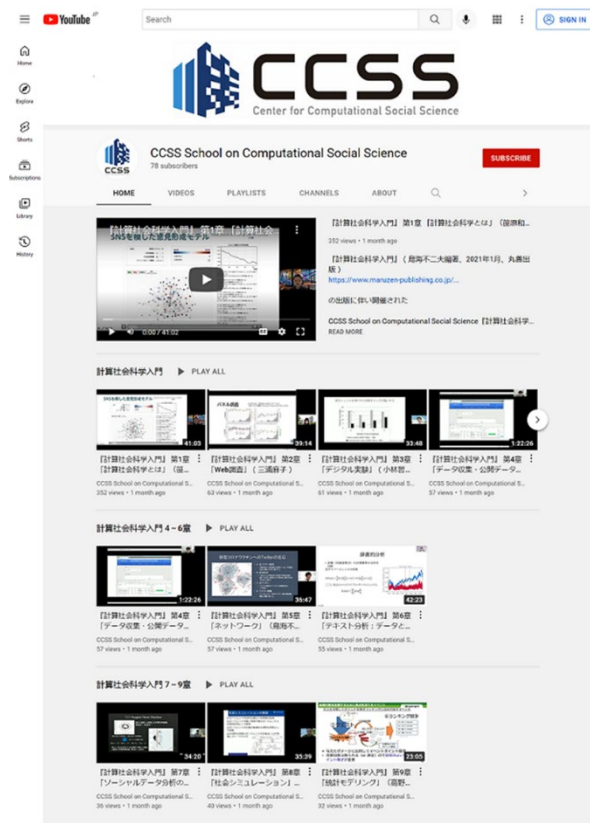
計算社会科学研究センターでは、今後の計算社会科学を牽引する人材を養成するため、また、世界的に活躍する計算社会科学の研究者と若手研究者との交流や議論を交わす場を設けることを目的とし、国際カンファレンスの開催やカンファレンスの内容を動画で作成・公開している。

2.1. YouTube チャンネル公開

【CCSS School on Computational Social Science】

計算社会科学は、コンピュータサイエンスや社会科学など様々な分野と深くかかわる異分野共創研究分野である。

計算社会科学がどのような研究分野なのか、興味のある学部生や研究者を主な対象として YouTube 動画を作成し、『計算社会科学入門』（2021年1月発行）12章のうち9章の動画を公開した。今後も、日本語・英語による多数の動画の制作を計画している。



2.2. 『第1回計算社会科学大会 (CSSJ2022)』

2022年2月28日(月)3月1日(火)

Zoomによるオンライン配信/協力：計算社会科学研究センター

24組の若手研究者、大学院生、学生等が計算社会科学に関する研究を発表した。

2日間にわたり延べ300名が参加した。

3. 大型科研費・外部資金獲得実績

●上東貴志（教授・シミュレーション部門）：

- ① 国立研究開発法人科学技術振興機構 未来社会創造事業 探索加速型「超スマート社会の実現」領域 「社会リスク可視化システム、及び社会リスクに適切に対応する意思決定システムの開発」（研究代表者）2020～2022年
- ② 文部科学省 科学研究費補助金：基盤研究（S）「包括的な金融・財政政策のリスクマネジメント：金融危機から国際関係・災害リスクまで」（研究代表者）2020～2024年度

●貝原俊也（教授・シミュレーション部門）

- ① 国立研究開発法人科学技術振興機構 未来社会創造事業 探索加速型「超スマート社会の実現」領域「社会政策立案に向けたマルチスケール ABSS 手法」（研究代表者）2020～2022年
- ② 兵庫県，最先端技術研究事業（COEプログラム）「応用ステージ研究」健康/運動/生活データの統合・解析・シミュレーションによる健康増進システムの開発（研究代表者）2020～2022年

●谷口隆晴(准教授・データ分析部門)

- ① 国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 CREST[数理的情報活用基盤領域](#)に研究課題「幾何学的離散力学を核とする構造保存的システムモデリング・シミュレーション基盤」（研究代表者）2019～2025年

●小代薫(特命講師・データベース部門)

- ① 阪急電鉄株式会社、大阪ガス株式会社、オムロンソーシアルソリューションズ株式会社:奨学寄付金「防災減災の国際連続ワークショップ(Kobe Peer Workshop)」2021年度

●正田 ヴェラ パオラ レイエス(助教・データベース部門)

- ① 一般財団法人山岡記念財団「日独若者文化・ライフスタイルの研究助成」
「ソーシャルメディア（Instagram）における日本とドイツの若い女性の自己表現に関する研究」 2022年2月16日

4. 若手・女性・外国人研究者の育成

2020年度に女性限定の若手研究者を公募し採用している。

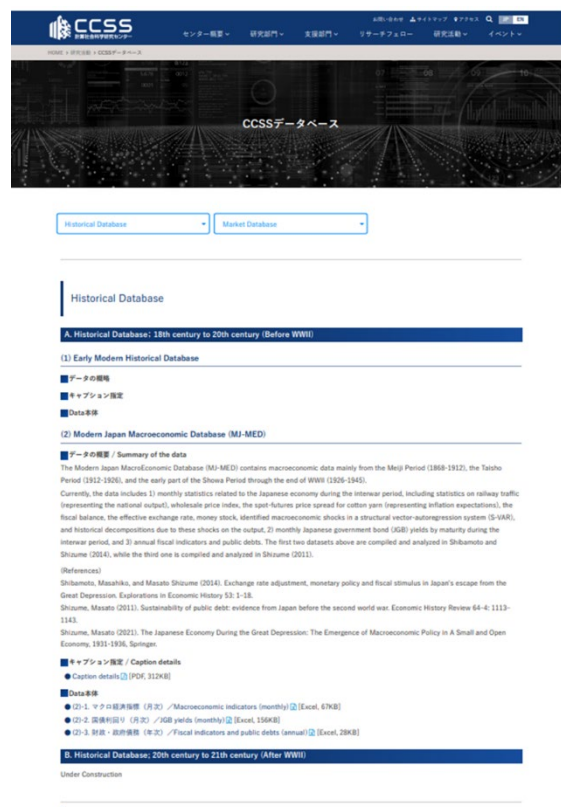
- ・正田 ヴェラ パオラ レイエス 助教 データベース部門 (2021.11～)

2021 年度に新たに以下の採用を決定している。

- ・ロミチ イヴァン 特命助教 データ分析部門 (2022. 4～)
- ・サラマ シャディ 助手 データ分析部門 (2022. 4～)

5. データベースの構築と公開

計算社会科学センターでは、重要なデータを独占することなく、広く共有することで、計算社会科学の裾野を広げることを使命としている。その象徴とも言える試みが、研究データベースの公開であり、**Historical Database** と **Market Database** という 2 本の柱からなる。前者では、18 世紀から 20 世紀（第二次大戦前）にかけての歴史的な数量データを公開している。具体的には、①江戸時代中期以降における米価、金銀比価（金貨と銀貨の交換レート）、天候、経済的イベント、自然災害などを日次ベースで整理した近世経済データベース（**Early Modern Historical Database**）と、②近代日本に関するマクロ経済指標（月次）、国債利回り（月次）、財政・政府債務（年次）のデータである。①は、江戸時代を代表する三井家の大坂両替店が遺した記録を元に復元したデータベースであり、日次レベルの頻度で江戸時代のマーケットデータを公開するものとして唯一無二である。②は、第 1 次大戦後から高橋財政期におけるマクロ経済ならびに金融市場の詳細な分析に利用可能な月次データと、明治・大正・昭和戦前期の財政の維持可能性を検証するための年次データからなる。歴史研究者の中には、貴重なデータを抱えてはいるが公開する場がない（公開の仕方が分からない）といった事情を抱えている方も少なくない。今後も、計算社会科学 研究に資する歴史的な数量データは、積極的に採録、公開していく予定である。後者は、『地域別の市場データと消費者プロファイルの日次ベースで傾向整理したデータベース。ソーシャルメディア「SNS」（ツイッターや Google レビュー）の話題と感情のデータ』である。



IV. リサーチフェロー

令和4年3月31日現在、17名のリサーチフェローが所属している。

	研究者氏名	所属	職名	任命期間
1	Alain Barrat	CNRS, Centre de Physique Théorique, 東京工業大学	Deputy director, 特任教授	2021. 12. 1～2024. 11. 30
2	Ciro Cattuto	ISI Foundation	Principal Scientist	2021. 12. 1～2024. 11. 30
3	Emilio Ferrara	Univ of Southern California	Assistant Professor	2021. 12. 1～2024. 11. 30
4	Petter Holme	東京工業大学	特任教授	2021. 12. 1～2024. 11. 30
5	Kimmo Kaski	Aalto University	Professor	2021. 12. 1～2024. 11. 30
6	増田 直紀	University at Buffalo	Professor	2022. 8. 1～2025. 7. 31
7	Jesús Gómez Gardeñes	University of Zaragoza	Associate Professor	2022. 8. 1～2025. 7. 31
8	Corrado Di Guilmi	University of Technology Sydney;	Senior Lecturer	2020. 2. 1～2023. 1. 31
9	鳥海 不二夫	東京大学	教授	2020. 2. 1～2023. 1. 31
10	笹原 和俊	東京工業大学	准教授	2020. 2. 1～2023. 1. 31
11	瀧川 裕貴	東北大学	准教授	2020. 2. 1～2023. 1. 31
12	遠藤 薫	学習院大学	教授	2020. 2. 1～2023. 1. 31
13	藤原 義久	兵庫県立大学	教授	2020. 2. 1～2023. 1. 31
14	和泉 潔	東京大学	教授	2020. 2. 1～2023. 1. 31
15	野田 五十樹	産業技術総合研究所	総括研究主幹	2020. 2. 1～2023. 1. 31
16	伊藤 伸泰	理化学研究所	チームリーダー	2022. 2. 1～2024. 1. 31
17	榊 剛史	株式会社ホットリンク, 東京大学未来ビジョン研究センター	開発本部 R & D部長, 客員研究員	2020. 3. 1～2023. 2. 28

V. 研究業績と活動状況

教授 上東 貴志 (Takashi KAMIHIGASHI)

- ・ 計算社会科学センター/シミュレーション部門
 - ・ 経済経営研究所
-

研究活動

<研究業績>

【論文】

■レフェリー付論文

1. “Organizational refinements of Nash equilibrium,” (with Kerim Keskin and Cagri Saglam), *Theory and Decision*, Vol. 91, 289–312, doi.org/10.1007/s11238-021-09812-5, 2021

□掲載予定論文 (Forthcoming)

1. “[Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model](#)” (with Ken-Ichi Akao, Hitoshi Ishii and Kazuo Nishimura), *Pure and Applied Functional Analysis*, forthcoming
2. “[Japan's Monetary Policy: A Literature Review and An Empirical Assessment](#),” (with Masahiko Shibamoto and Wataru Takahashi), *Journal of Computational Social Science*, forthcoming

■掲載論文 (査読なし)

□掲載論文

1. 「投機かリスクヘッジか—堂島米市場再考—」(高槻泰郎と共著)『*経済史研究*』第25号 31-57頁 2022年1月

□未掲載論文(DP/WP)

1. “Central Bank Economic Confidence and the Macroeconomy,” (with Masahiko Shibamoto and Kazuhiro Seki). Discussion Paper Series, No.DP2022-15, RIEB Kobe University, 26 pp., March 2022
2. “Two Types of Asset Bubbles in a Small Open Economy,” (with Ryonghun Im). Discussion Paper Series, No.DP2022-15, RIEB Kobe University, 19 pp., March 2022
3. “The First Public Panel Data on Regional Inequality in Japan Based on the Family Income and Expenditure Survey,” (with Yosuke Sasaki). Discussion Paper Series, No.DP2022-14, RIEB Kobe University, 9 pp., March 2022
4. “A Spatial Panel Data Analysis of Fertility Rates: Unraveling Two Myths,” (with Yosuke Sasaki). Discussion Paper Series, No.DP2022-13, RIEB Kobe University, 14 pp., March 2022
5. “Technological Competition among the Big Five in Patent Data: A Systematic and Scalable Approach Based on Web-Search Technology,” (with Katsuyuki Tanaka), Discussion Paper Series, No.DP2022-09, RIEB Kobe University, 29 pp., March 2022
6. “[Measuring Technological Competition among Big Five Using Patent Data: A Systematic and Scalable Approach Based on Information Retrieval Technology](#),” (with Katsuyuki Tanaka), Discussion Paper Series, No.DP2021-06, RIEB Kobe University, 21 pp., March 2021

【その他】

<学会報告等研究活動>

■講演（招待講演/基調講演）

1. (基調講演)「MIRAI BOSAI 趣旨説明」『災害に対して強靱な社会と経済をつくる 防災減災の国際連続ワークショップ KOBE PEER WORKSHOP “MIRAI BOSAI”』 オンライン開催 2022年3月10日・11日

■報告（学会報告/会議報告）

1. (学会報告)「ポストコロナ社会における政策決定」『第12回横幹連合コンファレンス』 筑波大学（オンライン開催） 2021年12月19日
2. (学会報告)「社会リスク可視化システム、及び社会リスクに適切に対応する意思決定システムの開発」『第12回横幹連合コンファレンス』 筑波大学（オンライン開催） 2021年12月18日

■モデレーター（主催/司会/座長/討論者/パネリスト）

1. (パネルディスカッション司会)「インターナショナル・セッション」『災害に対して強靱な社会と経済をつくる 防災減災の国際連続ワークショップ KOBE PEER WORKSHOP “MIRAI BOSAI”』 オンライン開催 2022年3月11日
2. (モデレーター/パネリスト)『神戸大学経済経営研究所ウェビナー 藩札から銀行へ～渋沢栄一と明治の金融革命～』 オンライン開催 2021年12月5日
3. (オーガナイザー) "International Competition and Growth", The 20th Annual SAET Conference Seoul National University (Online) 2021年6月15日
4. (オーガナイザー) "Economic Growth," The 20th Annual SAET Conference Seoul National University (Online) 2021年6月14日
5. (オーガナイザー/司会) "Innovation," The 20th Annual SAET Conference Seoul National University (Online) 2021年6月14日

<社会活動>

■所属学会

1. 日本経済学会
2. 計算社会科学会
3. IEFS Japan
4. 数理経済学会

■学会役員

1. International Economic Association（国際経済学連合）理事（2021年7月～）
2. 日本学術会議・会員（2020年10月1日～）
3. IEFS Japan・会長（2019年1月1日～）
4. 日本経済学会・代議員（2018年6月～）
5. 計算社会科学会・副会長

■雑誌編集

1. 査読付学術雑誌「Journal of Computational Social Science」(JCSS) Editor-in-Chief
2. 査読付学術雑誌「International Journal of Economic Theory (Wiley)」 Editor-in-Chief
3. 経済理論専門誌「Economic Theory」のAssociate Editor

4. 経済理論専門誌「Economic Theory Bulletin」 Associate Editor
5. 経済理論専門誌「Macroeconomic Dynamics」 Associate Editor
6. 経済理論専門誌「Mathematical Social Sciences」 Associate Editor

■学外委員

1. 科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業「ACT-X」研究領域「[AI活用]学問革新創成」JAI活用で挑む学問の革新と創成 領域アドバイザー

<国際交流活動>

- Novo Tempus, "Towards new Tools for the Time Dimensions of Models in Economics"
- "New Approach to Stability Analysis for Economic Systems", with John Stachurski
- "Global Stability of Monotone Markov Processes and Economic Applications", with John Stachurski
- "A Nonsmooth, Nonconvex Model of Optimal Growth", with Santanu Roy
- "Industry Dynamic with Investment and Social Learning", with Santanu Roy
- "Dynamic Optimization with a Nonsmooth, Nonconvex Technology: the Case of Linear Objective Function", with Santanu Roy

<特許>

- 「学术论文の査読者検索装置、査読者検索方法、及び査読者検索プログラム」
特願 2020-014904, 特開 2021-121903, 幸若完壮, 上東貴志, 2020年1月出願, 2021年8月公開,
- 「画像認識装置、画像認識方法、コンピュータプログラム、及び製品監視システム」
特願 2017-063675, 特開 2018-165948, 特許第 6964857 号, 陳金輝, 上東貴志, 伊藤宗彦, 高槻泰郎 2017年3月出願, 2018年10月公開, 2021年10月22日登録

<受賞>

- 令和3年度神戸大学学長表彰 2021年10月
- 令和3年度第13回神戸大学学長表彰 財務貢献者 2021年10月

教授 北野 重人 (Shigeto KITANO)

- ・ 計算社会科学センター/シミュレーション部門
 - ・ 経済経営研究所
-

研究活動

<研究業績>

【論文】

■レフェリー付論文

1. “How Do World Commodity Prices Affect Asian Commodity Exporting Economies? The Role of Financial Frictions,” Applied Economics Letters, Vol.29, Issue 1, pp.84-90, January 2022

□掲載予定論文 (Forthcoming)

2. “Financial Market Incompleteness and International Cooperation on Capital Controls,” (with Kenya Takaku), International Journal of Economic Theory, forthcoming, 2022

■掲載論文 (査読なし)

□未掲載論文(DP/WP)

1. “Effects of China’s Capital Controls on Individual Asset Categories,” (with Yang ZHOU), RIEB Discussion Paper Series No.2021-25, 13pp., December 2021 (Revised March 2022)
2. “Effect of Sovereign Wealth Funds in Commodity-Exporting Economies when Commodity Prices Affect Interest Spreads,” (with Kenya Takaku), RIEB Discussion Paper Series No.2021-22, 28pp., November 2021 (Revised November 2021)

【その他】

<学会報告等研究活動>

■報告 (学会報告/会議報告)

1. (学会報告) “The Role of Sovereign Wealth Funds in Commodity-Exporting Economies When Commodity Prices Affect Interest Spreads” Korea International Economic Association, 2021 Annual Meeting (オンライン開催) 2021年12月22日
2. (学会報告) “Effect of Sovereign Wealth Funds in Commodity-Exporting Economies when Commodity Prices Affect Interest Spreads” 日本金融学会 2021年度秋季大会 大阪経済大学 (オンライン開催) 2021年10月16日

<社会活動>

■所属学会

1. American Economic Association
2. 日本経済学会
3. 日本金融学会
4. 日本国際経済学会
5. IEFS JAPAN

■学会役員

1. 日本国際経済学会理事 (2018年～)
2. 日本金融学会理事 (2014年～)

■プログラム委員

- 1.日本金融学会2021 年秋季大会プログラム委員

■雑誌編集

- 1.Japanese Journal of Monetary and Financial Economics, Co-editor, 2014～

■学内外委員

- ・日本金融学会国際金融部会幹事（2018 年～）
- ・日本国際経済学会出版委員（2018 年～）
- ・神戸大学金融研究会幹事（2010 年～）

■学術論文レフリー

- ・ Journal of Money, Credit, and Banking
- ・ Journal of International Money and Finance
- ・ Journal of Macroeconomics
- ・ Journal of Economics
- ・ The Manchester School
- ・ Review of Development Economics
- ・ Japanese Economic Review
- ・ Japanese Journal of Monetary and Financial Economics
- ・ International Economic Journal
- ・ Japan and the World Economy
- ・ The B.E. Journal of Macroeconomics
- ・ Emerging Markets Finance and Trade
- ・ Economic Modelling
- ・ Open Economies Review

教授 飯塚 敦 (Atushi IIZUKA)

- ・ 計算社会科学センター/シミュレーション部門
 - ・ 都市安全研究センター
-

研究活動

<研究業績>

【著書 (分担執筆)】

1. 「美しい未来をつくるひとのための15のはなし」
祇園, 景子
第5章 安全と未来, 15 未来に対する私たちの責任 (飯塚敦), 神戸大学出版会,
神戸新聞総合出版センター (発売), 2021年03月, pp.118-125, 日本語,
ISBN: 9784909364135

【論文】

■レフェリー付論文

1. “[Automatic Construction of Three-Dimensional Ground Model by Data Processing](#)”
Tomohide Takeyama, Hideyuki O-Tani, Satoru Oishi, Muneo Hori, Atsushi Iizuka
IEEE-ASME TRANSACTIONS ON MECHATRONICS 26(6) 2881-2887 2021年12月
2. “[LIQUEFACTION RISK ASSESSMENT IN THE 23 WARDS OF TOKYO USING ELASTOPLASTIC ANALYSIS](#)”
Kazuya Honda, Tomohide Takeyama, Shinya Tachibana, Atsushi Iizuka
INTERNATIONAL JOURNAL OF GEOMATE 21(86) 48-54 2021年10月
3. “[A PROCEDURE TO DETERMINE MATERIAL PARAMETERS BASED ON BOREHOLE DATA IN DYNAMIC ANALYSIS](#)”
Tomohide Takeyama, Kazuya Honda, Shinya Tachibana, Atsushi Iizuka
INTERNATIONAL JOURNAL OF GEOMATE 21(85) 1-9 2021年9月
4. “[Leaning Pagoda of Ayutthaya Analysis with Three-Dimensional Effects and Ground Uncertainty](#)”
Ito, H, Ishida, Y, Sansaard, V, Takeyama, T, Iizuka, A
International Journal of Geomate, 2021年06月01日, International Journal of GEOMATE,
20 (82), 161 - 169, 英語
5. 温度勾配による不飽和ペントナイト中の水分移動シミュレーション,
有井拓也, 太田有祐, 橘伸也, 竹山智英, 飯塚敦,
Proceedings of Kansai Geo-Symposium 9 218-222 2021年11月

【その他】

<学会報告等研究活動>

■講演 (招待講演/基調講演)

1. (招待講演) 「都市デジタルツインから都市丸ごとシミュレーションへ」, 地盤工学会関西支部講演会, オンライン開催, 2021年5月14日

2. (招待講演)「セーフティケースへの情報統合ーセーフティケースにおける「設計」と地層処分事業に注目してー」日本原子力学会, 2021 秋大会, バックエンド部会企画セッション, オンライン開催, 令和 2 年 9 月 8 日
3. (特別講演)「都市丸ごとのシミュレーション技術組合の取り組みと今後の防災のあり方」, 東洋建設講演会, オンライン開催, 2022 年 2 月 1 日
4. (招待講演)「街の安全性評価と投資」 ～都市丸ごとのシミュレーション技術を用いた市場創成の可能性～, 防災減災の国際連携ワークショップ MIRAI BOSAI, オンライン開催, 2022 年 3 月 10 日～11 日

■報告 (学会報告/会議報告)

- 1.(研究報告)液状水と水蒸気の流れを考慮した不飽和土の連続条件式の定式化
A formulation of continuity condition for unsaturated soil considering the flows of liquid water and water vapor
有井 拓也, 橘 伸也, 竹山 智英, 飯塚 敦
Takuya Arii, Shinya Tachibana, Tomohide Takeyama, Atsushi Iizuka
神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第 26 号, pp.1-9, 2022.3
- 2.(研究報告)地盤応答解析コードの GPU 並列化
GPU parallelization of geotechnical response analysis code
堂ヶ原 健, 竹山 智英, 銭谷 誠司, 橘 伸也, 飯塚 敦
Takeshi Dogahara, Tomohide Takeyama, Seiji Zenitani, Shinya Tachibana, Atsushi Iizuka
神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第 26 号, pp.10-19, 2022.3
- 3.(研究報告)民間企業による国土強靱化への ESG 投資の活用
Consideration of ESG investment to improve national resilience by private sectors
野村拓馬, 飯塚敦
Nomura Takuma, Atsushi Iizuka
神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第 26 号, pp.29-41, 2022.3

<社会活動>

■所属学会

- 1.国際開発学会
- 2.応用生態工学会
- 3.緑化工学会
- 4.植生学会
- 5.米国土木学会
- 6.土木学会
- 7.地盤工学会

■学外委員

- ・ 国際地盤工学会, Technical Committee TC6 (Unsaturated soils) Core member
- ・ 国土交通省社会資本整備審議会道路分科会近畿地方小委員会委員
- ・ 国土交通省社会資本整備審議会専門委員
- ・ 国土交通省近畿地方整備局, 総合評価委員会委員
- ・ 国土交通省近畿地方整備局, 港湾空港部門総合評価委員会委員
- ・ 国土交通省近畿地方整備局, 災害時建設業事業継続力認定委員会委員

- ・国土交通省近畿地方整備局，総合評価委員会専門部会委員
- ・国土交通省近畿地方整備局，兵庫ブロック総合評価委員会委員長
- ・国土交通省近畿地方整備局・阪神高速道路株式会社 大阪湾岸道路西伸部技術検討委員会基礎構造小委員会委員
- ・兵庫県，ひょうご安全の日推進事業，計画等策定支援専門家委嘱
- ・兵庫県公共事業等審査会会長
- ・社団法人全日本建設技術協会，公共工事品質確保技術者資格試験委員
- ・独立行政法人防災科学研究所兵庫耐震工学研究センター，数値振動台研究開発分科会・地盤WG主査
- ・財団法人原子力環境整備促進・資金管理センター，地下空洞型処分施設性能確認試験検討委員会委員
- ・公益財団法人原子力安全研究協会処分システム安全研究所，NUMO 包括的技術報告書レビュー特別専門委員会委員
- ・国立研究開発法人海洋研究開発機構，数理科学・先端技術研究分野 上席招聘研究員
- ・一般財団法人建設工学研究所・所員
- ・一般財団法人災害科学研究所・研究員
- ・一般社団法人 FLIP コンソーシアム・顧問
- ・日刊工業新聞，(社)近畿建設協会，建設技術展近畿，マイドーム大阪，注目技術審査員，橋梁コンテスト審査委員会委員長
- ・(独) 日本学術振興会，科学研究費委員会第 25 小委員会審査委員

■学外営利企業の役員

神戸大学発ベンチャー企業，東京ジオテック株式会社，取締役
都市丸ごとシミュレーション技術研究組合 代表理事

教授 大石 哲 (Satoru OISHI)

- ・ 計算社会科学研究センター/シミュレーション部門
 - ・ 都市安全研究センター
-

研究活動

<研究業績>

【論文】

■レフェリー付論文

1. Syarifuddin, Magfira; Jenkins, Susanna F.; Taisne, Benoit; Oishi, Satoru; Basuki Ahmad; Iguchi, Masato, “Estimating the velocity of pyroclastic density currents using an operational dual-PRF radar”, *Journal of Volcanology and Geothermal Research* No.424, 1-25, 2021.
doi.org/10.1016/j.jvolgeores.2021.107462
2. Kazuki Yamanoi, Satoru Oishi, Kenji Kawaike, Hajime Nakagawa, “Predictive simulation of concurrent debris flows: How slope failure locations affect predicted damage”, *Journal of Flood Risk Management*, 2021. doi.org/10.1111/jfr3.1277618
3. Jian Chen, Hideyuki O-tani, Tomohide Takeyama, Satoru Oishi, Muneo Hori, “A Probabilistic Liquefaction Hazard Assessment for Urban Regions Based on Dynamics Analysis Considering Soil Uncertainties”, *Journal of Earth Science*, Vol. 32, No. 5, p. 1129–1138, 2021.
4. Tomohide Takeyama, Hideyuki O-tani, Satoru Oishi, Muneo Hori, and Atsushi Iizuka, “Automatic construction of three-dimensional ground model by data processing”, *IEEE/ASME Transactions on Mechatronics (TMECH)*, 2021.

【その他】

<学会報告等研究活動>

■講演（招待講演/基調講演）

1. (招待講演)公益社団法人日本技術士会近畿本部兵庫県支部主催「第29回CPD講座」
：「富岳を用いた減災のための都市のデジタルトランスフォーメーション」
2021年5月28日（金）18:30～20:00

■報告（学会報告/会議報告）

1. (研究報告)大規模粒子法を用いた土塊の自重崩壊シミュレーションに関する研究
Study on gravitational collapse simulation for soil cube using a large-scale particle method
平田 紗椰, 野中 沙樹, 大石 哲
Saya HIRATA, Saki NONAKA, Satoru OISHI
神戸大学都市安全研究センター研究報告, 第26号, pp.42-50, 2022.3

■記事（解説/コメント/インタビュー記事/寄稿）

1. (テレビ出演)『巨大地震がもたらす被害をスーパーコンピューター「富岳」がシミュレーション 軟弱地盤が揺れを増幅 新耐震基準でも倒壊の危険が... 正しい対応で被害がない世界に!』読売テレビ かんさい情報ネット ten
2022年3月11日放送

<社会活動>

■所属学会

- 1.国際水圏環境工学研究会 (IAHR)
- 2.土木学会
- 3.水文・水質源学会
- 4.日本気象学会
- 5.米国地球物理学会 (AGU)
- 6.米国気象学会 (AMS)
- 7.砂防学会

■学会役員

1. 国際水圏環境工学研究会 (IAHR) 水資源マネジメント研究部会 副部会長
2. 土木学会水工学委員会水害対策小委員会委員長

■学外委員/チーム

- ・ 理化学研究所 計算科学研究センター 総合防災・減災研究チーム チームリーダー
- ・ 兵庫県武庫川水系河川整備計画フォローアップ懇話会座長
- ・ 阪神西部 (武庫川流域圏) 地域総合治水推進協議会会長
- ・ 静岡県公共事業評価委員会会長
- ・ 静岡県河川審議会会長

教授 貝原 俊也 (Toshiya KAIHARA)

- ・ 計算社会科学センター/シミュレーション部門
 - ・ 大学院システム情報学研究科
-

研究活動

<研究業績>

【論文】

■レフェリー付論文

1. “[A Novel Feature Selection for Evolving Compact Dispatching Rules Using Genetic Programming for Dynamic Job Shop Scheduling](#)”
Shady Salama, Toshiya Kaihara, Nobutada Fujii, Daisuke Kokuryo
International Journal of Production Research 1-24 2022 年 3 月 査読有り
2. “[A Multi-objective Approach with a Distance Metric in Genetic Programming for Job Shop Scheduling](#)”
Shady Salama, Toshiya Kaihara, Nobutada Fujii, Daisuke Kokuryo
International Journal of Automation Technology 16(3)296-308 2022 年 3 月 査読有り
3. “[Negotiation based approach for collecting and recycling operations in circular economy](#)”
Giuseppe Stecca, Toshiya Kaihara
CIRP CMS2021 -54th CIRP Conference on Manufacturing Systems,2021 200-205 2021 年 9 月 査読有り
4. “[Evolving Dispatching Rules Using Genetic Programming for Multi-objective Dynamic Job Shop Scheduling with Machine Breakdowns](#)”
Salama Shady, Toshiya Kaihara, Nobutada Fujii, Daisuke Kokuryo
CIRP CMS2021 -54th CIRP Conference on Manufacturing Systems,2021 411-416 2021 年 9 月 査読有り
5. “[Smart Interactive Humane Service with CPHS for Healthcare Industry](#)”
Toshiya Kaihara, Daisuke Kokuryo
Journal of Serviceology 2021 6(2) 6-11 2021 年 9 月 査読有り
6. “[A Study on Sharing Logistics Network Design Considering Demand Uncertainty](#)”
Asumi Ito, Toshiya Kaihara, Daisuke Kokuryo, Nobutada Fujii
APMS 2021 International Conference Advances in Production Management Systems 655-662 2021 年 9 月 査読有り
7. “[A New Representation and Adaptive Feature Selection for Evolving Compact Dispatching Rules for Dynamic Job Shop Scheduling with Genetic Programming](#)”
Salama Shady, Toshiya Kaihara, Nobutada Fujii, Daisuke Kokuryo
APMS 2021 International Conference Advances in Production Management Systems 646-654 2021 年 9 月 査読有り
8. “[A Proposal of Scheduling Method Based on Decision Criteria Considering Electric Power Costs and Productivity](#)”
Masayuki Yabuuchi, Toshiya Kaihara, Nobutada Fujii, Daisuke Kokuryo, Mio Nonaka, Kotone

Senju

APMS 2021 International Conference Advances in Production Management

Systems 637-645 2021 年 9 月 査読有り

9. “[Auction-based production planning considering operators' skill criterion](#)”

Toshiya Kaihara, Daisuke Kokuryo, Nobutada Fujii, Daichi Itaya

CIRP Annals 2021 - Manufacturing Technology 70(1) 399-402 2021 年 8 月 査読有り

【その他】

<学会報告等研究活動>

■講演（招待講演/基調講演/発表/口頭発表）

1. (口頭発表)[マスカスタマイゼーション実現のための動的部品割当を考慮した生産スケジューリング手法の一提案](#)

筒井伸輔, 貝原俊也, 國領大介, 藤井信忠, 原野健一

日本機械学会 生産システム部門研究発表講演会 2022 講演論文集 2022 年 3 月 7 日

2. (口頭発表)[データ駆動型マルチスケール生産シミュレーションモデリングの提案](#)

永原聡士, 貝原俊也, 藤井信忠, 國領大介

日本機械学会 生産システム部門研究発表講演会 2022 講演論文集 2022 年 3 月 8 日

3. (口頭発表)[セル生産における疲労を考慮した作業者の配置に関する研究](#)

仲ひとみ, 原口春海, 貝原 俊也, 藤井 信忠, 國領 大介

日本機械学会 生産システム部門研究発表講演会 2022 講演論文集 2022 年 3 月 7 日

4. (口頭発表)[サステナブル生産の実現を目指す生産計画と工場エネルギー供給計画の連携手法に関する研究](#)

藪内雅幸, 貝原俊也, 藤井信忠, 國領大介

日本機械学会 生産システム部門研究発表講演会 2022 講演論文集 2022 年 3 月 7 日

5. (口頭発表)[受注生産における納期及び製造コストの多目的最適化による工場内負荷調整を含んだ生産計画手法の一提案](#)

貝原 俊也, 藤井 信忠, 國領 大介, 村上 亘, 梅田 豊裕

日本機械学会 生産システム部門研究発表講演会 2022 講演論文集 2022 年 3 月 7 日

6. (口頭発表)[スマートサプライチェーンにおける企業間連携と最適化のための動的モデル構成基盤](#)

西 竜志, 松田 三知子, 谷水 義隆, 貝原 俊也

日本機械学会 生産システム部門研究発表講演会 2022 講演論文集 2022 年 3 月 7 日

7. (口頭発表) [新興感染症患者の療養先割当を対象としたマッチングメカニズムに基づく提案手法の有効性評価](#)

川本 恭平, 貝原 俊也, 國領 大介, 藤井 信忠

第 27 回社会システム部会研究会 (SICE 社会システム部) 2022 年 3 月

8. (口頭発表) [マルチスケールモデリングを用いた社会シミュレーションにおける複数の意思決定主体間の影響解析](#)

清水岳, 貝原俊也, 國領大介, 藤井信忠

第 27 回社会システム部会研究会 (SICE 社会システム部) 2022 年 3 月

- 9.(口頭発表)[社会政策立案に向けたマルチスケール ABSS 手法～D³ 技術基盤の構築にむけて](#)
貝原俊也
計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会 2021 (SSI2021) 2021 年 11 月 21 日
- 10.(口頭発表)[複数の意思決定主体を含む社会シミュレーションのためのマルチスケール総合モデリング手法の一提案](#)
清水岳, 貝原俊也, 藤井信忠, 國領大介
計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会 2021 (SSI2021) 2021 年 11 月 21 日
- 11.(口頭発表)[制約付きマッチングに基づいた新興感染症患者療養先割当手法の一提案 -患者の希望と適切な医療提供体制確保の両立に向けた検討-](#)
貝原俊也, 藤井信忠, 國領大介, 川本恭平
計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会 2021 (SSI2021) 2021 年 11 月 21 日
- 12.(口頭発表)[不確実性を考慮したシェアリングロジスティクスネットワーク設計に関する研究](#)
伊東明日美, 貝原俊也, 國領大介, 藤井信忠
第 64 回自動制御連合講演会 2021 年 11 月 14 日
- 13.(口頭発表)[マスクカスタマイゼーション実現のための生産計画更新手法の一提案](#)
筒井伸輔, 貝原俊也, 國領大介, 藤井信忠, 原野健一
第 64 回自動制御連合講演会 2021 年 11 月 13 日
- 14.(口頭発表)[電力消費と生産性を意思決定基準とした生産スケジューリング手法の一提案～希求水準の再設定方法の検討～](#)
藪内 雅幸, 貝原 俊也, 藤井 信忠, 國領 大介
スケジューリング・シンポジウム 2021 (SS2021) 2021 年 9 月 25 日
- 15.(口頭発表)[受注生産を対象とした納期及び製造コストの多目的最適化による工場内負荷調整法の一提案](#)
貝原 俊也, 藤井 信忠, 國領 大介, 村上 亘, 梅田 豊裕
2021 年度精密工学会秋季大会学術講演会講演論文集 2021 年 9 月 21 日
- 16.(口頭発表)[社会シミュレーションのためのマルチスケール統合モデリング手法](#)
清水岳, 貝原俊也, 藤井信忠, 國領大介
第 26 回社会システム部会研究会 (SICE 社会システム部) 2021 年 8 月 28 日
- 17.(口頭発表)[需要の不確実性を考慮した強調的ロジスティクスネットワークに関する研究](#)
伊東 明日美, 貝原 俊也, 國領 大介, 藤井 信忠
第 65 回システム制御情報学会研究発表講演会 2021 年 5 月 26 日
- 18.(口頭発表)[受注生産型機械部品製造を対象とした多目的最適化による機械稼働計画の策定](#)
貝原 俊也, 藤井 信忠, 國領 大介, 村上 亘, 梅田 豊裕
第 65 回システム制御情報学会研究発表講演会 2021 年 5 月 26 日

19.(口頭発表)[電力コストと生産性を意思決定基準とした日程計画手法の感度分析](#)

藪内 雅幸, 貝原 俊也, 藤井 信忠, 國領 大介

第 65 回システム制御情報学会研究発表講演会 2021 年 5 月 26 日

20.(口頭発表)[フレキシブルフローショップにおける在庫適正化を目的とした生産計画手法の一提案](#)

貝原 俊也, 藤井 信忠, 國領 大介, 辻本 悠人, 望月 則孝, サリッディチャイナンタープーチャット, 宮地 優斗

第 65 回システム制御情報学会研究発表講演会 2021 年 5 月 26 日

■記事 (解説/コメント/インタビュー記事/寄稿)

1. [働き方の変化とグローバル化に対応した生産システム](#)

貝原 俊也

砥粒加工学会誌 66(3) 121-124 2022 年 3 月

2. (招待講演)[New trends on Smart Manufacturing System in Society 5.0](#)

貝原 俊也

日中韓機械工学技術交流会 2021 年 11 月 27 日 招待有り

3. [Society5.0 を実現する概念と用語](#)

小川 雅晴, 小野 晃, 貝原 俊也

計測と制御 60(9) 670-677 2021 年 9 月

4. [スマート・フレキシブル・オートメーション \(SmFA\) 研究分科会 2020 年度活動報告](#)

貝原 俊也, 國領 大介

システム制御情報学会誌 65(7) 284-286 2021 年 7 月

5. (招待講演)[An innovative systems approach for designing Society 5.0](#)

Toshiya Kaihara

International Symposium on Scheduling 2021 4-4 2021 年 6 月 26 日 招待有り

6. [MBSE におけるシステム要求および構造の関係性に着目した影響分析手法](#)

貝原 俊也, 藤井 信忠, 藤井 進

IMS 精密工学会総合生産システム専門委員会 2020 年度活動報告書 37-4 2021 年 5 月

7. [社会的課題解決への実展開を目指す新たなシステムズアプローチの実現に向けて \(韓国語\)](#)

貝原 俊也

自動化技術 (出版国: 韓国) 82-85 2021 年 5 月

<社会活動>

■所属学会

1. IFAC (International Federation of Automatic Control)
2. 日本工学アカデミー
3. サービス学会
4. CIRP (Collège International pour la Recherche en Productique)
5. IFIP (International Federation of Information Processing)
6. IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers)

7. スケジューリング学会
8. 日本オペレーションズリサーチ学会
9. 計測自動制御学会
10. システム制御情報学会
11. 電気学会
12. 精密工学会
13. 日本機械学会

■学会役員

1. 2022年03月 - 現在, 電気学会, フェロー (2019-)
2. 2020年07月 - 現在, 日本工学アカデミー, 会員
3. 2020年05月 - 2021年5月, システム制御情報学会, 会長
4. 2018年04月 - 現在, 日本機械学会, 生産システム部門 部門長 (2018-2019),
フェロー (2019-)
5. 2012年08月 - 現在, 国際生産工学アカデミー (CIRP), 会員 (2012-2020),
フェロー (2020-)
6. 2007年08月 - 現在, 日本学術会議, 自動制御の多分野応用小委員会 委員

<受賞>

1. 2022年03月 フェロー授与 一般社団法人 電気学会
貢献内容: システム科学分野における学術研究と人材育成

教授 横川 三津夫 (Mitsuo YOKOKAWA)

- ・ 計算科学研究センター/シミュレーション部門
 - ・ 大学院システム情報学研究科
-

研究活動

<研究業績>

【論文】

■レフェリー付論文

1. “[Statistics of local Reynolds number in box turbulence: ratio of inertial to viscous forces](#)”
Yukio Kaneda, Takashi Ishihara, Koji Morishita, Mitsuo Yokokawa, Atsuya Uno
JOURNAL OF FLUID MECHANICS 929 2021年10月 査読有り

■掲載論文（査読なし）

1. “[Optimizations of DNS Codes for Turbulence on SX-Aurora TSUBASA](#)”
Yujiro Takenaka, Mitsuo Yokokawa, Takashi Ishihara, Kazuhiko Komatsu, Hiroaki Kobayashi
Sustained Simulation Performance 2019 and 2020 51-59 2021年

【その他】

<学会報告等研究活動>

■講演（招待講演/基調講演）

- 1.(口頭発表) Hybrid Computation on Building Responses against Earthquake on a VH and VEs of SX-Aurora TSUBASA
Mitsuo Yokoakwa
Workbench on Sustained Simulation Performance (WSSP2021), 2021年03月17日, 英語

■報告（学会報告/会議報告）

1. 竹上諒, 横川三津夫, 櫻井幹記, 石原卓, 圧縮性乱流直接数値シミュレーションコードのDFTを用いた高速化, Vol. 2022-HPC-183, No.2, pp. 1-7, 2022年3月17日

<社会活動>

■所属学会

1. 一般社団法人日本流体力学会
2. 一般社団法人日本応用数理学会
3. 一般社団法人情報処理学会
4. 米国 ACM 学会

■学外委員

- ・ 公益財団法人計算科学振興財団・理事
- ・ 神戸医療産業都市推進機構運営委員会・委員
- ・ インダストリスパコン推進センター アドバイザー

教授 佐野 英樹 (Hideki SANO)

- ・ 計算社会科学センター/シミュレーション部門
 - ・ 大学院システム情報学研究科
-

研究活動

<研究業績>

【論文】

■レフェリー付論文

1. “[Stability analysis of infinite-dimensional event-triggered and self-triggered control systems with Lipschitz perturbations](#)”
Masashi Wakaiki, Hideki Sano
Mathematical Control and Related Fields 12(1) 245-273 2022 年 3 月 査読有り
2. “[State estimation of Kermack-McKendrick PDE model with latent period and observation delay](#)”
Hideki Sano, Masashi Wakaiki
IEEE Transactions on Automatic Control 66(10) 4982-4989 2021 年 10 月 査読有り
3. “[Secret Communication Systems Using Chaotic Wave Equations with Neural Network Boundary Conditions](#)”
Yuhan Chen, Hideki Sano, Masashi Wakaiki, Takaharu Yaguchi
Entropy 23(7) Paper No. 904 2021 年 7 月 16 日 査読有り
4. “[Stability analysis of heat exchangers with delayed boundary feedback](#)”
Hideki Sano
Automatica 127 Paper No. 109540 2021 年 5 月 査読有り

【その他】

<学会報告等研究活動>

■記事 (解説/コメント/インタビュー記事/寄稿)

1. [双曲型システムの展望 — 境界制御/境界観測系の新しい定式化](#)
佐野 英樹
システム/制御/情報 65(8) 336-339 2021 年 8 月
2. [分布定数系のカオスとその応用について](#)
佐野 英樹, 若生 将史, 谷口 隆晴
システム/制御/情報 65(8) 305-310 2021 年 8 月
3. [強連続半群と制御理論](#)
若生 将史, 佐野 英樹
計測と制御 60(5) 369-374 2021 年 5 月

<社会活動>

■所属学会

1. The Mathematical Society of Japan
2. The Japan Society for Industrial and Applied Mathematics
3. The Society of Instrument and Control Engineers
4. The Institute of Systems, Control and Information Engineers
5. 日本数学会
6. 日本応用数理学会
7. 計測自動制御学会
8. システム制御情報学会

講師 榎本 大悟 (Daigo UMEMOTO)

- ・ 計算社会科学センター/シミュレーション部門
 - ・ 経済経営研究所
-

研究活動

<研究業績>

【論文】

■レフェリー付論文

□掲載済

1. Umemoto, D., & Ito, N. “Power-law distribution found in city-scale traffic flow simulation” . In Journal of Physics: Conference Series (Vol. 2122, No. 1, p. 012006). IOP Publishing. (2021, November)
2. 都市交通シミュレーションの冪分布と道路ネットワークの階層性.
榎本大悟, & 伊藤伸泰. 電気学会論文誌 C (電子・情報・システム部門誌), 141(12), 1388-1396. (2021)
3. 阪神高速 ETC 統計データの時間的規則性
榎本大悟, 上東貴志
交通流と自己駆動粒子系シンポジウム論文集 27th (Web) 2021 年

【その他】

<学会報告等研究活動>

■報告 (学会報告/会議報告)

- 1.(報告) OD analysis of Hanshin Expressway ETC statistics AROB27th 2022 年 1 月 別府
- 2.(報告) 阪神高速 ETC データの時間的規則性 交通流数理研究会 2021 年 12 月
名古屋大学
- 3.(報告/招待有り) 「都市交通シミュレーションで生じたべき分布」 KIER 2021 年 6 月
京都大学 京都大学都市経済研究会 2021 年 6 月 11 日
京都大学都市経済研究会
- 4.(報告) 都市交通のシミュレーションとデータ分析
神戸交通マネジメントワークショップ 2021 年 5 月 31 日
神戸大学経済経営研究所 交通政策研究部会

<社会活動>

■所属学会

1. 日本物理学会
2. 計算社会科学会

教授 西谷 公孝 (Kimitaka NISHITANI)

- ・ 計算社会科学センター/データ分析部門
 - ・ 経済経営研究所
-

研究活動

<研究業績>

【著書（分担執筆）】

「SDGs と価値」 國部克彦・鶴田宏樹・祇園景子編 第11章『価値創造の教育 神戸大学バリュースクールの挑戦』 神戸大学出版会 189-208 頁 2021年8月

【論文】

■レフェリー付論文

1. “Material Flow Cost Accounting (MFCA) for the Circular Economy: An Empirical Study of the Triadic Relationship Between MFCA, Environmental Performance, and Economic Performance in Japanese Companies,” (coauthored with Kokubu, K., Wu, Q., Kitada, H., Guenther, E., and Guenther T.), *Journal of Environmental Management*, Vol. 303, 114219, February 2022
2. “Environmental management control tools for promoting sustainable consumption and production in Thai and Vietnamese companies,” (coauthored with Wu, Q. and Kokubu, K.), *Global Environmental Research*, Vol. 25, No.1&2, November 2021
3. 「サステナビリティ会計は SDGs 促進手法となり得るか：環境会計導入が環境パフォーマンスと生産性に与える効果」『メルコ管理会計研究』第13巻第1号 3-18 頁 2021年11月
4. “Motivations for voluntary corporate adoption of integrated reporting: A novel context for comparing voluntary disclosure and legitimacy theory,” (coauthored with Unerman, J. and Kokubu, K.), *Journal of Cleaner Production*, Vol. 322, 129027, November 2021
5. “Are corporate environmental activities to meet sustainable development goals (SDGs) simply greenwashing? An empirical study of environmental management control systems in Vietnamese companies from the stakeholder management perspective,” (coauthored with Islam, M.T. and Kokubu, K.), *Journal of Environmental Management*, Vol. 296, 113364, October 2021
6. “Corporate Social Reporting in the Banking Industry of Bangladesh: A Test of Legitimacy Theory,” (coauthored with Islam, M.T. and Kokubu, K.), *Social Responsibility Journal*, Vol.17, Issue 2, pp.198-225, 2021
7. 「SDGs に貢献するサステナビリティ経営と企業価値」『野村サステナビリティクォーターリー』第3巻第1号 5-6 頁 2022年2月

■掲載論文（査読なし）

□未掲載論文(DP/WP)

1. “Are Corporate Environmental Activities to Meet Sustainable Development Goals (SDGs) Simply Greenwashing? An Empirical Study of Vietnamese Companies from the Stakeholder

Management Perspective” (coauthored with Thi Bich Hue, NGUYEN Trong Quy TRINH, Qi WU, Katsuhiko KOKUBU), *RIEB Discussion Paper Series*, DP2021-12, 36pp., April 2021

【その他】

<学会報告等研究活動>

■モデレーター（主催/司会/座長/討論者/パネリスト）

1. (パネリスト)「カーボンニュートラル：2050年までに何をすべきか」日本学術会議近畿地区会議学術講演会 神戸大学 2021年9月20日

<社会活動>

■所属学会

1. 環境経済・政策学会
2. 日本社会関連会計学会
3. 日本 LCA 学会
4. 日本会計研究学会
5. Centre for Social & Environmental Accounting Research

<国際交流活動>

1. 「企業の SDGs への取り組みに関する国際比較研究」國部克彦（神戸大学）Ataur R. Belal（シェフィールド大学）と共同研究
2. 「環境情報開示の日米比較研究」國部克彦（神戸大学）Jin Dong Park（タウソン大学）と共同研究
3. 「統合報告書の日英比較研究」國部克彦（神戸大学）遠藤貴宏（一橋大学）Jeffrey Unerman（ランカスター大学）Franco Zappettini（リバプール大学）と共同研究
4. 「日本・ドイツ企業における経営管理と環境マネジメントの関係に関する国際比較研究」國部克彦（神戸大学）梶原武久（神戸大学）北田皓嗣（法政大学）Thomas Guenther（ドレスデン工科大学）Edeltraud Guenther（ドレスデン工科大学）他と共同研究
5. 「アジアにおける企業の環境経営モデルの展開とステークホルダーによる導入支援方策に関する研究」國部克彦（神戸大学）Nguyen Thi Bich Hue（貿易大学）Pakpong Pochanart（National Institute of Development Administration）他と共同研究

<受賞>

1. 2021年12月 [Social Responsibility Journal - Literati Award 2021 \(Outstanding Reviewer\)](#), Emerald Publishing

教授 中川 丈久 (Takehisa NAKAGAWA)

- ・ 計算社会科学センター/データ分析部門
 - ・ 大学院法学研究科
-

研究活動

<研究業績>

【論文】

■レフェリー付論文

- 1.[判例研究・東京地判令和2年8月6日\(振り込め詐欺救済法\)](#)
中川丈久
私法判例リマックス (64) 26-29 2022年3月 招待有り筆頭著者
- 2.[行政訴訟における訴えの利益 \(3・完\)](#)
中川 丈久, 笠井 正俊, 下井 康史, 山本 隆司
自治研究 98(1) 7-48 2022年1月 筆頭著者
- 3.[行政訴訟における訴えの利益 \(2\)](#)
中川丈久, 笠井正俊, 下井康史, 山本隆司
自治研究 97(12) 3-36 2021年11月 筆頭著者
- 4.[行政訴訟における訴えの利益 \(1\)](#)
中川丈久, 笠井正俊, 下井康史, 山本隆司
自治研究 97(11) 3-35 2021年11月 筆頭著者
- 5.[デジタルプラットフォームと消費者取引](#)
中川丈久
ジュリスト (1558) 40-46 2021年5月 筆頭著者

【その他】

<学会報告等研究活動>

■講演 (招待講演/基調講演)

- 1.(口頭発表)行政法関連分野での課題—極悪層対策の欠落をどう補うか
日弁連法務研究財団「犯罪対策の課題と未来」単著 2022年03月31日
日本語 行政法 規制手法
- 2.(口頭発表)「行政手続における秘密保護の課題」—特定質問
法曹倫理国際シンポジウム東京 2022 単著 2022年03月05日
日本語 行政法 立法・司法過程
- 3.(発言)座談会・行訴における訴えの利益 (3・完)
自治研究 98 巻1号 7~48頁 共著 2022年01月
日本語 (座談会) 行政法
- 4.(発言)座談会・行政訴訟における訴えの利益 (2)
自治研究 97 巻12号 3~36頁 共著 2021年11月
日本語 (座談会) 行政法

5. (発言)座談会・行政訴訟における訴えの利益（1）
自治研究 97 卷 11 号 3～35 頁 共著 2021 年 10 月
日本語（座談会）行政法

<社会活動>

■所属学会

1. 日本消費者法学会
2. 日米法学会
3. 日本公法学会

■学会役員

1. 日本消費者法学会・理事
2. 日米法学会・理事

■雑誌編集

1. 民商法雑誌 編集委員

■学外委員

1. 消費者庁・消費者安全調査委員会（“消費者事故調”）委員長（2018 年 10 月～）
2. 文部科学省 中央教育審議会・法科大学院等特別委員会・委員（2019 年 6 月～）
3. 文部科学省 教科用図書検定調査審議会・臨時委員（2020 年 4 月～）
4. 人事院：国家公務員試験（総合職）考査委員（2010 年～）
5. 兵庫県行政不服審査会・会長
6. 兵庫県情報公開・個人情報保護審査会・会長
7. 兵庫県本人確認情報保護審議会・会長
8. 神戸市個人情報保護審議会・委員
9. 神戸市消費生活会議・委員
10. 神戸市消費者紛争処理委員会・委員
11. 豊中市情報公開・個人情報保護審査・委員

教授 栗木 契 (Kei KURIKI)

- ・ 計算社会科学センター/データ分析部門
 - ・ 大学院経営学研究科
-

研究活動

<学会報告等研究活動>

■報告 (学会報告/会議報告)

1. ["起業家支援のマーケティング・リサーチ：エフェクチュエーションにもとづく考察"](#)

栗木 契

日本商業学会 第 11 回全国研究報告会プログラム ZOOM によるオンライン開催
2021 年 12 月 19 日

■モデレーター (主催/司会/座長/討論者/パネリスト)

1. Japan Marketing Academy リサーチプロジェクト

日本マーケティング学会 エフェクチュエーション研究報告会 第 12 回 2021 年
9 月 13 日 (オンライン)

「近隣の小売商店に見出すエフェクチュエーションの実践：街の繁盛店は何をしているか？」

松田温郎 (リサプロメンバー / 山口大学 経済学部 准教授)・鈴木稔 氏 (ゲスト / 株式会社エル・ティール・エス)・栗木契 (リサプロメンバー / 神戸大学大学院 経営学研究科 教授)

■記事 (解説/コメント/インタビュー記事/寄稿)

1. スシローやモスバーガーに学ぶ、新常態時代に勝ちを掴むマーケティング戦略とは

栗木 契

まぐまぐニュース 2022 年 3 月

2. うまいだけでは生き残れない…モスバーガーを復活に導いた「奇跡のマーケティング」の中身 新たなターゲットは「若いママ層」

栗木 契

プレジデントオンライン 2022 年 3 月

3. ビジネスモデルの利用拡大と歴史の文脈

栗木 契

季刊ひょうご経済 2022 年 1 月

4. 「みんなでワイワイはもう戻らない」ワタミの"脱・居酒屋"の大転換をバカにはできない

栗木 契

プレジデントオンライン 2022 年 1 月

5. 農産物のマーケティング発想から生まれた道の駅の活性化

栗木 契

『トンボクロス』No.3 ヤンマーアグリジャパン株式会社 (3) 2021 年 10 月

6. ネスレ、ノキアの明暗を分けた「ビジネスモデル」の意義、4つの視点で考える
栗木 契
ダイヤモンド オンライン 2021年11月
7. 「行列に並ばなくても食べられる」スシローが"持ち帰り店"を加速させる本当の狙い
栗木 契
プレジデントオンライン 2021年10月
8. MBAの学生はケーススタディを通じて何を学んでいるか
栗木 契
季刊ひょうご経済 (152) 12-13 2021年10月
9. 富士通が「巨額をかけた残念なシステム作り」から一線を引けるようになったワケ
栗木契
プレジデントオンライン 2021年8月 筆頭著者
10. 「現地に行くよりいい」デンソーの"オンライン工場見学"のすごい評判
栗木契
プレジデントオンライン 2021年7月
11. 自社ブランドの強化で販売を伸ばしたOEM企業のマーケティング
栗木契
季刊ひょうご経済 (151) 12-13 2021年7月
12. 「出張はもうしなくていい」航空・鉄道はこれからどうすれば生き残れるか
プレジデントオンライン 2021年5月
13. 有名なコカ・コーラの失敗例で、あまり語られない「その後」が重要である理由
栗木契
ダイヤモンドオンライン 2021年5月
14. プレMBAの知的武装
栗木契
季刊ひょうご経済 (150) 12-13 2021年4月 筆頭著者
15. 知名度ゼロの下請け企業が「2万円超のトースター」で大ヒットを生むまで
栗木契
プレジデントオンライン 2021年4月
16. 「ドリンクを買うだけで寄付になる」思わぬ大成功になった"SDGs自販機"誕生秘話
プレジデントオンライン 2021年4月

<社会活動>

■所属学会

1. 日本商品学会
2. 日本消費者行動研究学会
3. 組織学会
4. 日本商業学会

5. 日本マーケティング学会
6. 日本経営学会

■学会役員

1. 日本消費者行動研究学会理事
2. 日本商事学会理事
3. 日本マーケティング学会理事

■雑誌編集

1. 日本マーケティング学会ジャーナル編集委員
2. 一橋ビジネスレビュー編集委員

■学外営利企業の役員

1. 株式会社碩学舎取締役

教授 小林 照義 (Teruyoshi KOBAYASHI)

- ・ 計算社会科学センター/データ分析部門
 - ・ 大学院経済学研究科
-

研究活動

<研究業績>

【論文】

■レフェリー付論文

1. [金融システムに潜むネットワーク上の連鎖破綻リスク](#)
小林照義
システム制御情報学会「システム／制御／情報」 65(5) 163-168 2021年5月
査読有り招待有り筆頭著者責任著者
2. “[Optimal irreversible monetary policy](#)”
Kohei Hasui, Teruyoshi Kobayashi, Tomohiro Sugo
European Economic Review 134 103707-103707 2021年5月
査読有り責任著者

■掲載論文（査読なし）

□未掲載論文(DP/WP)

1. “Identifying the temporal dynamics of densification and sparsification in human contact”
networks
Shaunette T. Ferguson, Teruyoshi Kobayashi
arXiv 2201.09489 2022年1月 最終著者責任著者
2. “Sequential locality of graphs and its hypothesis testing”
arXiv 2111.11267 2021年11月22日
3. “Unstable diffusion in social networks”
arXiv 2109.14560 2021年9月28日 責任著者

【その他】

<学会報告等研究活動>

■講演（招待講演/基調講演）

1. (招待講演)Diffusion of competing goods on networks
小林照義
Mini Workshop on: "Network and Search" 2022年3月15日 招待有り
2. (招待講演)社会・経済ネットワークにおける連鎖現象と調整ゲーム
小林照義
第170回地域科学ワークショップ 2022年3月4日 招待有り
3. (招待講演)Temporal dynamics of densification and sparsification in human contact networks
小林照義
ブロックチェーン研究会 2021年12月3日 招待有り

- 4.(学会講演)Unstable diffusion in social networks
小林照義
DC Conference 2021 年 10 月 16 日
- 5.(招待講演)社会・経済システムのネットワーク解析
小林照義
データサイエンス・AI イノベーション研究推進センター・
経済経営研究所ジョイントセミナー 2021 年 10 月 14 日 招待有り
- 6.(学会講演)Diffusion dynamics on monoplex and multiplex networks
小林照義
日本経済学会秋季大会 2021 年 10 月 9 日
- 7.(学会講演)Scaling relations reveal the switching dynamics of temporal networks
小林照義
CompleNet 2021 2021 年 5 月 24 日

<社会活動>

■所属学会

1. 日本経済学会
2. 日本金融学会
3. Network Science Society
4. 計算社会科学会

■学会役員

- ・計算社会科学会理事

■雑誌編集・ジャーナル編集

- ・PLOS ONE, Academic Editor

<受賞>

[KDDI Foundation Award 2021 貢献賞 KDDI 財団](#)

ウェアラブルセンサで切り拓く社会・経済ネットワーク研究
小林照義 2021 年 9 月 17 日

特命教授 西村 和雄 (Kazuo NISHIMURA)

- ・ 計算社会科学センター/データ分析部門
 - ・ 経済経営研究所
-

研究活動

<研究業績>

【編著書】

1. 『Creative Complex Systems』 (Masatoshi Murase, Kazuyoshi Yoshimura と共編) 429 頁
Springer, 2021 年 10 月

【論文】

■レフェリー付論文

1. “Does Financial Development Amplify Sunspot Fluctuations?,” (with Takuma Kunieda),
Pure and Applied Functional Analysis, Vol.6, No.4, pp.777-796, 2021
2. “Life and Workplace Satisfaction and Behaviour Change Ability—An Empirical Study in
Japan” (with Tadashi Yagi), Makoto Yano, Fumihiko Matsuda, Anavaj Sakuntabhai and
Shigeru Hirota, eds., *Socio-Life Science and the COVID-19 Outbreak-Public Health and
Public Policy*, Chapter 13, pp. 303-321, Springer, November 2021
3. “Education Policy and Behavioral Change in Science Learning—An empirical analysis
based on Japanese data” (with Tadashi Yagi and Dai Miyamoto), Makoto Yano, Fumihiko
Matsuda, Anavaj Sakuntabhai and Shigeru Hirota, eds., *Socio-Life Science and the
COVID-19 Outbreak-Public Health and Public Policy*, Chapter 14, pp. 323-340, Springer,
November 2021
4. “Determination of Individual Differences in Mental Imagery Tasks: An Approach to Visual
Thinkers and Verbal Thinkers” (with Takaaki Aoki, Michiyo Inagawa, Yoshikazu
Tobinaga and Sunao Iwaki), Aurora Martínez Romero, ed., *Recent Developments in
Medicine and Medical Research*, Vol.15, pp.29-37, B P International, November 2021
5. “Coase Meets Bellman: Dynamic Programming for Production Networks,” (with Tomoo
Kikuchi, Kazuo Nishimura, John Stachurski and Junnan Zhang), *Journal of Economic
Theory*, Vol.196, Article 105287, September 2021
6. “Externalities of human capital” (with Bosi, S. and Lloyd-Braga, T.), *Mathematical Social
Sciences*, Vol.112, pp.145-158, July 2021

□掲載予定論文 (Forthcoming)

1. “Flying or trapped?,” (with Yunfang Hu, Takuma Kunieda and Ping Wang), *Economic Theory*,
Springer, forthcoming
2. “Indeterminacy in a Model with Production Externality and Inferiority in Consumption,”
(with Kazumichi Iwasa), *International Journal of Economic Theory*, forthcoming
3. “Parenting methods in relation to norm awareness, social success, and perspectives of family
in adulthood,” (with Tadashi Yagi and Makoto Yano), *Journal of Computational Social
Science*, forthcoming
4. “Existence of an optimal path in a continuous-time nonconcave Ramsey model,” (with
Ken-Ichi Akao, Hitoshi Ishii and Takashi Kamihigashi), *Mathematical Economics of the Pure
and Applied Functional Analysis*, forthcoming

【その他】

<学会報告等研究活動>

■講演（招待講演/基調講演）

1. (招待講演) Lionel Mckenzie Lecture: “Technology Choice and Flying Geese Paradigm” The 20th Annual SAET Conference, Seoul National University (Online), 2021年6月16日

■記事（解説/コメント/インタビュー記事/寄稿）

1. (メディア掲載) 高等学校における理科学習が就業に及ぼす影響—大卒 就業者の所得データが示す証左—について紹介 ABEMA NEWS『ABEMA Prime』(2021年4月16日、21:00~放送)
2. (インタビュー記事) 朝日新聞 「<好きだから>自分で決めた道に幸福感—神戸大教授ら 2万人調査分析」(2022年1月1日付埼玉朝刊、30頁)
3. (対談記事) 大学ジャーナル 対談記事「<Society5.0のWell-beingのために STEAMの学びで、未来を切り拓く力を>その2 対談 個に応じたSTEAM教育を—教育の構造変容に期待」(2021年9月29日付、Vol.144) 4-5頁
4. (メディア掲載) 週間東洋経済 シンクタンク厳選レポートにて紹介「RIETI ディスカッション・ペーパーシリーズ 21-J-039 『日本の理数教育と研究開発力の推移』(宮本大・八木匡との共著)(2021年9月18日号)

<社会活動>

■所属学会

1. Society for the Advancement of Economic Theory (SAET)
2020~ Economic Theory Fellow
2. International Engineering and Technology Institute
2015~ Distinguished Fellow
3. Econometric Society
1992~Fellow of the Econometric Society
4. 日本学士院会員
5. 日本経済学会（理論計量経済学会）
6. 日本学術会議（連携会員）
7. 日本数学協会

■学会役員

1. 日本経済学教育協会（経済学検定試験実施）2002~会長
2. 国際教育学会 2006~会長

■雑誌編集

- *Taiwan Journal of Applied Economics*, Member of the Honorary International Editorial Advisory Board, 2017-
- *Neuroscience Communications*, Smart Science & Technology, Member of Editorial Board, 2015-
- *Advances in Dynamical Systems and Applications*, Research India Publications, Member of Editorial Board, 2006-

- *Advances of Mathematical Economics*, Springer-Verlag, Member of Editorial Board, 1998-
- *Annals of Financial Economics*, World Scientific, Member of the Advisory Board, August 2013-
- *Brazilian Journal of Business Economics*, Catholic University of Brasilia, Member of Advisory Board, February 2012-
- *Journal of Reviews on Global Economics*, Lifescience Global, Member of Editorial Board, 2012-
- *Journal of Risk and Financial Management*, Multidisciplinary Digital Publishing Institute, Member of the Advisory Board, August 2013-
- *Journal of Macroeconomics*, Elsevier, Member of Editorial Board, 2003-
- *Journal of Economic Development*, Chung Ang University, Member of Editorial Board, 1997-
- *Journal of Difference Equations and Applications*, Gordon and Breach Publishers, Member of Editorial Board since 1997
- *Journal of Informatics and Data Mining*, Insight Medical Publishing, Member of Editorial Board, 2015-
- *Journal of Health & Medical Economics*, Insight Medical Publishing, Member of Editorial Board, 2015-
- *Journal of Integrated Creative Studies*, Kyoto University, Member of Editorial Board, 2015-
- *International Journal of Dynamical Systems and Differential Equations*, Nova Science Publishers, Member of Editorial Board, 2006-
- *Pacific Economic Review*, Wiley-Blackwell, Member of Editorial Board, 2003-
- *Review of International Economics*, Wiley-Blackwell, Member of Editorial Board, 1997-
- *Seoul Journal of Economics*, Seoul University, Member of Editorial Board, 1996-
- *Studies in Nonlinear Dynamics and Econometrics*, MIT Press, Member of Editorial Board 1995-
- *Theoretical Economics Letters*, Scientific Research Publishing, Member of the Editorial Board, April 2011-

■学外委員その他

- 2017～ 大阪市教育委員会 顧問
- 2013～ 総合診断医療研究会 名誉顧問
- 2012～ 高等教育国際基準協会 名誉顧問
- 2005～ NPO これからの教育を考える会 理事
- 2009～ 東京大学大学院経済学研究科付属日本経済国際共同研究センター顧問

<国際交流活動>

1. コースの企業理論
オーストラリア国立大学 John Stachurski、シンガポール国立大学 Tomoo Kikuchi (2017 年度～2020 年度)
2. 経済の不安定性
マルセイユ経済大学 Alain Venditti (2017 年度～2020 年度)
3. 脳の機能と抽象代数
California Polytechnic State University, San Luis Obispo 校 Goro Kato (2014 年度～2020 年度)
4. 経済発展と技術導入に関する研究
ワシントン大学 Ping Wang、神戸大学 胡云芳 関西学院大学 國枝卓真(2020 年度～)

准教授 柴本 昌彦 (Masahiko SHIBAMOTO)

- ・ 計算社会科学センター/データ分析部門
 - ・ 経済経営研究所
-

研究活動

<研究業績>

【著書（分担執筆）】

1. 「コロナ禍における日本の中小企業の資金繰りと政策対応」（海野晋悟と共著）本多佑三・家森信善編著『ポストコロナとマイナス金利下の地域金融—地域の持続的成長とあるべき姿を求めて』中央経済社 第I部第3章 30-46頁 2022年2月
2. 「コロナ禍における中小企業の資金繰りと政策対応」「マイナス金利環境の下での地域金融機関の経営の現状と課題」研究会報告書（2020年度）第2章 pp.33-64 2021年3月

【論文】

■レフェリー付論文

□掲載予定論文 (Forthcoming)

1. “[Japan's Monetary Policy: A Literature Review and An Empirical Assessment](#),” (with Wataru Takahashi and Takashi Kamihigashi), *Journal of Computational Social Science*, forthcoming
2. “COVID-19 Infection Spread and Human Mobility,” (with Shoka Hayaki and Yoshitaka Ogisu), *Journal of the Japanese and International Economies*, vol.64 Article101195 June 2022

■掲載論文（査読なし）

□掲載論文

1. 「中小企業のSDGsへの取組みの現状と課題」家森信善編著『関西における地域金融面からの事業支援の課題-ポストコロナを見据えた地域金融のあり方-』研究会報告書（2021年度）アジア太平洋研究所資料 第1章 13-31頁 2022年3月
2. 「コロナ禍における中小企業の資金繰りと金融機関の役割」『しんくみ』第68巻第9号 6-13頁 2021年9月
3. 「コロナ禍における中小企業の資金繰りと政策対応」家森信善編著『マイナス金利環境下における地域金融機関の現状と課題』アジア太平洋研究所（APIR）第2章 33-64頁 2021年3月

□未掲載論文(DP/WP)

1. “Central Bank Economic Confidence and the Macroeconomy,” (with Kazuhiro SEKI and Takashi KAMIHIGASHI), *RIEB Discussion Paper Series No.DP2022-16*, Kobe University, March 2022

2. “Climate Changes and the Market Economy: The Case of Early Modern Japan,” (with Yasuo TAKATSUKI), *RIEB Discussion Paper Series* No.DP2022-11, Kobe University, March 2022
3. “Environmental Awareness and Green Business Practices in the Small Business Sector: Empirical Evidence Using a Small and Medium-sized Enterprises Survey in Japan” *RIEB Discussion Paper Series* No.DP2022-08, Kobe University, March 2022
- 4.“COVID-19 Infection Spread and Human Mobility,” (with Shoka HAYAKI and Yoshitaka OGISU), *RIEB Discussion Paper Series* No.DP2021-16, Kobe University, July 2021 (Revised February 2022)
- 5.“Japan's Monetary Policy: A Literature Review and An Empirical Assessment,” (with Wataru TAKAHASHI and Takashi KAMIHIGASHI), *RIEB Discussion Paper Series* No.DP2020-15, Kobe University, March 2020 (Revised 2020-7)

【その他】

<学会報告等研究活動>

■講演（招待講演/基調講演）

1. (招待講演)「気候変動と市場経済—江戸時代中後期を素材に—」日本銀行金融研究所セミナー（高槻泰郎と共同発表）（オンライン開催） 2022年2月15日

■報告（学会報告/会議報告）

1. (発表) “COVID-19 Infection and Human Mobility” RIEB セミナー（オンライン開催）
2021年6月29日

■モデレーター（主催/司会/座長/討論者/パネリスト）

1. (座長)「中央銀行パネル テーマ：金融政策の国債管理政策化：超低金利環境からの出口はあるのか」日本金融学会 2021年度秋季大会 大阪経済大学（オンライン開催）
2021年10月
2. (討論者) “A Quest for Monetary Policy Shocks in Japan by High Frequency Identification,” (杉崎 悠、須藤 直、中村 史一) , 日本経済学会 2021 春季大会（オンライン開催）
2021年5月15日

■記事（解説/コメント/インタビュー記事/寄稿）

1. 「自民党総裁選、論争の行方—経済論壇から 慶応義塾大学教授 土居丈朗—」日本経済新聞 2021年9月25日
2. 「金融緩和の功罪（下）インフレ期待の持続課題」『経済教室』日本経済新聞
2021年9月14日
3. 「巻頭言 大同生命サーベイ 2020 年度年間レポート発刊に寄せて」『中小企業経営者アンケート「大同生命サーベイ」2020 年度 年間レポート～コロナ禍を乗り越える中小企業の姿が明らかに～』 2頁 2021年5月

<社会活動>

■所属学会

1. 日本経済学会
2. 日本金融学会
3. American Economic Association
4. Western Economic Association International
5. Royal Economic Society
6. Econometric Society
7. International Association for Applied Econometrics

■プログラム委員

- 日本金融学会 2021 年度春季大会プログラム委員

■雑誌編集

- *Journal of the Japanese and International Economies (2)*
- *Asian Economic Journal*
- *Japanese Economic Review (2)*
- *Japan and the World Economy*
- *Asian-Pacific Financial Markets*
- *Macroeconomic Dynamics*
- *Review of Development Economics*

■学外委員その他

- 財務省財務統合政策研究所 財務経済理論研修指導担当教官

<国際交流活動>

1. 「Inflation Shocks, Expectations and Monetary Policy」 Kenneth N. Kuttner (Williams College) との共同研究

准教授 谷口 隆晴 (Takaharu YAGUCHI)

- ・ 計算社会科学センター/データ分析部門
 - ・ 大学院システム情報学研究科
-

研究活動

<研究業績>

【論文】

■レフェリー付論文 (査読あり)

1. “[Symplecticity of coupled Hamiltonian systems](#)”
Shunpei Terakawa, Takaharu Yaguchi
JSIAM Letters 14 37-40 2022 年 3 月 査読有り
2. “[KAM Theory Meets Statistical Learning Theory: Hamiltonian Neural Networks with Non-Zero Training Loss](#)”
陳鈺涵, 松原崇, 谷口隆晴
Thirty-Sixth AAAI Conference on Artificial Intelligence 2022 年 2 月 査読有り最終著者
3. “[Imbalance-Aware Learning for Deep Physics Modeling](#)”
Takahito Yoshida, Takaharu Yaguchi, Takashi Matsubara
ICLR2022 Workshop on AI for Earth and Space Science (ai4earth) 2022 年 査読有り
4. “[Neural Symplectic Form: Learning Hamiltonian Equations on General Coordinate Systems](#)”
Yuhan Chen, Takashi Matsubara, Takaharu Yaguchi
Advances in Neural Information Processing Systems (NeurIPS) 34 2021 年 12 月 査読有り
5. “[Symplectic Adjoint Method for Exact Gradient of Neural ODE with Minimal Memory](#)”
Takashi Matsubara, Yuto Miyatake, Takaharu Yaguchi
Advances in Neural Information Processing Systems (NeurIPS) 34 2021 年 12 月 査読有り
6. “[Secrete Communication Systems Using Chaotic Wave Equations with Neural Network Boundary Conditions](#)”
Yuhan Chen, Hideki Sano, Masashi Wakaiki, Takaharu Yaguchi
Entropy 23(7) 904 2021 年 7 月 16 日 査読有り
7. “[Identification method for polynomially parametrized LTI systems based on exhaustive modelling with algebraic elimination](#)”
Mizuka Komatsu, Takaharu Yaguchi, Kenji Kamada, Gen Izumisawa
Nonlinear Theory and Its Applications, IEICE 12(3) 295-308 2021 年 7 月 1 日
査読有り招待有り
8. “[Deep Discrete- Time Lagrangian Mechanics](#)”
Takehiro Aoshima, Takashi Matsubara, Takaharu Yaguchi
ICLR2021 Workshop on Deep Learning for Simulation (SimDL), 2021 年 5 月 査読有り

【その他】

<学会報告等研究活動>

■講演（招待講演/基調講演）

1. (招待講演)[Geometric Deep Energy- Based Models for Physics](#)
Takashi Matsubara, Yuhan Chen, Takaharu Yaguchi
Geometric Deep Energy- Based Models for Physics, Workshop on Functional Inference and Machine Intelligence (FIMI2022), 2022 2022 年 3 月 31 日 招待有り
2. (招待講演)[Geometric Energy-Based Deep-Learning Models for Physics](#)
Takaharu Yaguchi
DMV-OMG Annual Conference 2021 2021 年 9 月 28 日 招待有り

■報告（学会報告/会議報告）

- 1.(学会報告) [Learning Physical Systems with Imbalance-Aware Deep Learning](#)
Takahito Yoshida, Takaharu Yaguchi, Takashi Matsubara
電子情報通信学会技術研究報告 複雑コミュニケーションサイエンス研究会(CCS)
2022 年 3 月 27 日
- 2.(学会報告) [社会的つながりの次数分布からの交流ネットワーク生成モデルの提案](#)
浅野広大, 谷口隆晴, 増本康平, 原田和弘, 近藤徳彦, 岡田修一
日本応用数理学会第 18 回研究 部会連合発表会 2022 年 3 月 9 日
- 3.(学会報告)[ニューラルシンプレクティック形式とその応用](#)
陳鈺涵, 徐百歌, 松原崇, 谷口隆晴
日本応用数理学会第 18 回研究部会連合発表会 2022 年 3 月 8 日
- 4.(学会報告)[非平衡熱力学による摩擦付き質点バネ系に対する数値解法とその刻み幅条件](#)
搦本有望, 谷口隆晴
日本応用数理学会環瀬戸内応用数理研究部会第 25 回シンポジウム 2021 年 12 月 26 日
5. (学会報告)[シンプレクティック形式の学習による一般座標系での 深層物理モデル](#)
陳鈺涵, 松原崇, 谷口隆晴
日本応用数理学会環瀬戸内応用数理研究部会第 25 回シンポジウム 2021 年 12 月 25 日
6. (学会報告)[ハミルトニアンニューラルネットワークの安定性について](#)
小川乃愛, 谷口隆晴
日本応用数理学会環瀬戸内応用数理研究部会第 25 回シンポジウム 2021 年 12 月 25 日
7. (学会報告)[シンプレクティック随伴変数法に基づく省メモリな Neural ODE の学習](#)
松原崇, 宮武勇登, 谷口隆晴
電子情報通信学会技術研究報告複雑コミュニケーションサイ エンス研究会(CCS)
2021 年 11 月 18 日
8. (学会報告)[ハミルトニアンニューラルネットワークの理論評価と KAM 理論への応用](#)
陳鈺涵, 松原崇, 谷口隆晴
第 24 回情報論的学習理論ワークショップ(IBIS2021) 2021 年 11 月 12 日
9. (学会報告)[シンプレクティック随伴変数法による高速省メモリ な Neural ODE の勾配計算](#)

松原崇, 宮武勇登, 谷口隆晴

第 24 回情報論的学習理論ワークショップ(IBIS2021) 2021 年 11 月 12 日

10. (学会報告)[ニューラルシンプレクティック形式とそれによる一般座標系でのハミルトン方程式の学習](#)

陳鈺涵, 松原崇, 谷口隆晴

第 24 回情報論的学習理論ワークショップ (IBIS2021) 2021 年 11 月 10 日

11. (学会報告)[固定不可能モデルの解析：パラメータ多様体とその展開](#)

小松瑞果, 谷口隆晴

第 31 回日本数理生物学会大会 (2021 年度年会) 2021 年 9 月 13 日

12. (学会報告)[シンプレクティック数値積分法を用いた Neural ODE の学習](#)

松原崇, 宮武勇登, 谷口隆晴

電子情報通信学会情報論的学習理論と機械学習研究会(IBISML) 2021 年 6 月 28 日

13. (学会報告)[離散時間ラグランジュ力学のニューラルネットワークによるモデル化](#)

青嶋雄大, 松原崇, 谷口隆晴

第 35 回人工知能学会全国大会(JS AI2021) 2021 年 6 月 9 日

14. (学会報告)[物理現象のエネルギー挙動を離散時間で保証する深層学習シミュレーション](#)

松原崇, 青嶋雄大, 石川歩惟, 谷口隆晴

2021 年度第 35 回人工知能学会全国大会 (JS AI2021) 2021 年 6 月 8 日

15. (学会報告)[一般座標系におけるエネルギーベース物理モデル](#)

陳鈺涵, 松原崇, 谷口隆晴

第 26 回計算工学講演会 2021 年 5 月 26 日

<社会活動>

■所属学会

1. Institute of Electrical and Electronics Engineers
2. 情報処理学会
3. Society for Industrial and Applied Mathematics
4. American Institute of Aeronautics and Astronautics
5. 日本数学会
6. 日本応用数理学会

■学外委員

1. 2021 年 4 月 - 現在, MDPI Mathematics Topic Editor
2. 2019 年 10 月 - 現在, 日本数学会応用数学科会委員会委員
3. 2015 年 05 月 - 現在, 日本学術会議, 計算音響学小委員会 委員

<受賞>

2021 年 9 月 8 日 日本応用数理学会論文賞 理論部門

准教授 加藤 諒 (Ryo KATO)

- ・ 計算社会科学センター/データ分析部門
 - ・ 経済経営研究所
-

研究活動

<研究業績>

【論文】

■レフェリー付論文

1. “Semiparametric Bayes Instrumental Variable Estimation with Many Weak Instruments,” (coauthor: Takahiro Hoshino) *Stat*, Vol. 10, Issue 1, e350, December 2021

■掲載論文（査読なし）

□未掲載論文(DP/WP)

1. “Mobile Targeting: Exploring the Role of Area Familiarity, Store Knowledge, and Promotional Incentives”, (with HOSHINO, Takahiro, MORIWAKI, Daisuke, and OKAZAKI, Shintaro), *RIEB Discussion Paper Series*, No.2022-10, March 2022, 29pp.

<社会活動>

■所属学会

1. 日本マーケティング・サイエンス学会
2. 日本行動計量学会

■プログラム委員

2021.2022 年度 統計関連学会連合大会 プログラム委員

■学外委員その他

総務省統計局 個人企業経済統計欠測値補完に関する意見交換会 構成員

教授 家森 信善 (Nobuyoshi YAMORI)

- ・ 計算社会科学センター/データベース部門
 - ・ 経済経営研究所
-

研究活動

<研究業績>

【著書】

1. 『ベーシック+ (プラス) /金融論 (第3版)』中央経済社 2022年1月

【編著書】

1. 『コロナ禍と家計の金融行動—ポストコロナにおける家計の持続可能性をめざして—』経済経営研究叢書 (金融研究シリーズ) No.10 神戸大学経済経営研究所 2022年3月
2. 『ポストコロナとマイナス金利下の地域金融—地域の持続的成長とあるべき姿を求めて』中央経済社 (本多佑三と共編) 2022年2月

【書評】

1. 『旬刊 経理情報』No.1627 63頁 2021年11月 (後藤茂之著『リスク社会の企業倫理』中央経済社 2021年)
2. 『証券アナリストジャーナル』第59巻第6号 113-114頁 2021年5月 (チャールズ・シュワブ著/飯山俊康監訳/野村資本市場研究所訳『ゼロ・コミッション革命—チャールズ・シュワブの「顧客目線」投資サービス戦略』金融財政事情研究会 2020年)

【論文】

■レフェリー付論文

1. 「地域金融機関による人材紹介」『日本労働研究雑誌』第738号 36-44頁 2022年1月 (米田耕土と共著)
2. “Financial Literacy and Low Stock Market Participation of Japanese Households,” (co-authored with Hitoe Ueyama), *Finance Research Letters*, Volume 44, 102074 January 2022.

■掲載論文 (査読なし)

□掲載論文

1. 「地域金融機関の ESG 金融の取り組みについて」家森信善編著「関西における地域金融面からの事業支援の課題-ポストコロナを見据えた地域金融のあり方-」研究会報告書 (2021年度) アジア太平洋研究所資料 22-04 32-64頁 2022年3月
2. 「貸金業の健全な発展にとって必要な国民の金融リテラシーの向上」『JFSA』第34号 2022年春号 4-7頁 2022年3月
3. 「生活者視点の経済学と持続可能な社会：生活経済学会における金融経済教育についての研究」日本経済学会連合 創立70周年記念事業『21世紀における持続可能な経済社会の創造に向けて』 Vol.1 No.2 6-8頁 2022年2月
4. 「中小企業のカーボンニュートラル化に向けた地域金融機関の役割」『新春特別コラム：2022年の日本経済を読む～この国の新しいかたち』経済産業研究所 (RIETI) 2021年12月

5. 「協同組織金融機関のガバナンス改革—新しい役割を積極的に担える組織をめざせ—」『銀行実務』2022年1月号 28-31頁 2022年1月
6. 「地域金融機関における SDGs/ESG 対応の重要性」『サステナブルファイナンスがよくわかる講座2』 1-8頁 金融財政事情研究会 2021年12月
7. 「コロナ禍での地域経済の状況をいかに把握するか」『戦略経営者』2021年11月号 52-53頁 2021年11月 (『信金中金月報』2021年9月号より転載)
8. 「銀行員の考課・育成のあるべき姿—やる気を引き出し、成長を促せ—」『金融ジャーナル』 2021年12月号 82-85頁 2021年12月
9. 「ポストコロナの事業継続・承継支援 日常的な事業支援が発揮する強み」『戦略経営者』 2021年12月号 30-32頁 (『金融ジャーナル』2021年11月号より転載) 2021年12月
10. 「ポストコロナ禍での ESG 地域金融—事業性評価の深化を目指せ—」『野村サステナビリティクォーターリー』 2021年秋号 4-6頁 2021年11月
11. 「関西経済の課題と展望：地域金融機関の資金繰り支援を超えた支援機能の充実への期待」『アジア太平洋と関西 関西経済白書 2021』 133-139頁 アジア太平洋研究所 2021年10月
12. 「法務時評：地域活性化と創業支援への期待」『銀行法務21』 1頁 2021年11月
13. 「ポストコロナの事業継続・承継支援 日常的な事業支援が発揮する強み」『金融ジャーナル』 26-29頁 2021年11月
14. 「税理士からみた企業支援のための金融機関との連携の現状と課題」『国民経済雑誌』第224巻第4号 29-45頁 (米田耕士・尾島雅夫・井上貴文と共著) 2021年10月
15. 「環境省の事業に協力して ESG 地域金融の普及に取り組む」『神戸大学環境報告書 2021』 2021年9月号 17頁 2021年9月
16. 「巻頭言 コロナ禍での地域経済の状況をいかに把握するか」『信金中金月報』 2021年9月号 2-3頁 2021年9月
17. 「第4章 地域金融機関の仕組みと役割」『2021年版 信用金庫職員のための実践！経済金融ハンドブック』 139-184頁 2021年7月
18. 「業務範囲規制の緩和を生かして顧客支援の充実を—事業性評価の能力が成否を決める—」『銀行実務』 第748号 12-17頁 2021年8月
19. 「コモディティ・デリバティブ市場の現状と課題—総合取引所誕生からの1年を振り返る—」『先物・オプションレポート』 Vol.33 No.6 1-8頁 2021年6月
20. 「新型コロナウイルス感染症下における企業実態調査の概要」(植杉威一郎・小野有人・本田朋史・荒木祥太・内田浩史・小野塚祐紀・川口大司・鶴田大輔・深沼光・細野薫・宮川大介・安田行宏と共著) RIETI Discussion Paper Series 21-J-029 2021年6月
21. 「ポストコロナにおける地域金融機関と地方創生」 『証券アナリストジャーナル』第59巻第5号 6-15頁 2021年5月

□未掲載論文(DP/WP)

1. “The Role of Regional Banks in SME Financing in Japan: Expanding Their Roles for Regional Revitalization,” *KIF (Korea Institute of Finance) Distinguished Professor Series 8*,

KIF Working Paper 2022-03, 1-131pp., (with Hitoe UEYAMA), February 2022

2. 「ポストコロナにおける金融機関による企業支援の課題－2021年企業アンケート結果を基に－」神戸大学経済経営研究所ディスカッション・ペーパー No.DP2022-J04 80頁（浅井義裕、相澤朋子、尾島雅夫、海野晋悟、橋本理博と共著） 2022年2月
3. 「住宅ローン利用者の自然災害に関する意識と金融リテラシー」神戸大学経済経営研究所ディスカッション・ペーパー No.DP2022-J01 73頁（上山仁恵と共著） 2022年1月
4. 「コロナ禍の高齢者の金融行動への影響と金融リテラシー－2019年調査と2021年調査の比較－」神戸大学経済経営研究所ディスカッション・ペーパー No.DP2021-J13 83頁（上山仁恵と共著） 2021年9月
5. 「地方創生にむけた金融機関と専門家の連携の課題－「地方創生にむけた金融機関との連携に関する専門家の意識調査」の結果の概要－」神戸大学経済経営研究所ディスカッション・ペーパー No.DP2021-J08 52頁（米田耕士、尾島雅夫、井上貴文）と共著） 2021年4月

【その他】

<学会報告等研究活動>

■講演（招待講演/基調講演）

1. （招待講演）「信用保証を利用した創業支援の現状と課題」一般財団法人国際経済交流財団 第5回進化型産業政策研究会 2022年2月15日
2. （基調講演）「日本の家計の金融リテラシーとコロナ禍での金融行動」神戸大学経済経営研究所・社会システムイノベーションセンター主催シンポジウム「ポストコロナの家計経済を考える－持続可能な地域社会を創るために－」 2021年11月30日（オンライン開催）
3. （講演）「信用組合の役割発揮のための人材強化の課題」しんくみ大学 2021年11月18日（オンライン開催）
4. （基調講演）「日本の信用保証協会による創業支援とコロナ禍での対応」第33回アジア中小企業信用補完制度実施機関連合会議 2021年11月16日（オンライン開催）
5. （講演）「地域金融機関と税理士との連携による中小企業経営支援」TKC 近畿京滋会 TKC 中小企業支援機関情報交換会 2021年11月8日（オンライン開催）
6. （基調講演）「生きる力を育む金融・保険教育－難しく考えすぎないで！－」生命保険文化センター・日本損害保険協会 2021年度 教員対象 夏季セミナー「くらしとリスク管理」 大阪会場：梅田センタービル／東京会場：損保会館 2021年8月16日・19日
7. （講演）「地域金融の将来－今、金融機関は何に取り組むべきか」北陸地区信用金庫協会 日本金融監査協会 金融高度化ウェビナー・イブニング 2021年8月11日（オンライン開催）
8. （講演）「ポストコロナの信用金庫の可能性－『強み』を生かした重層支援へ－」北陸地区信用金庫協会 第2期しんきん未来塾 2021年7月5日（オンライン開催）

9. (招待講演) “Keynote Speech: The Impact of the First Wave of the COVID-19 on SMEs and the Public Financial Assistance in Japan”, International Applied Business Conference on the Evolution of Small and Medium Enterprises in the 21st Century and beyond, the University of Guelph-Humber, Online, June 5, 2021

■報告 (学会報告/会議報告)

1. (基調報告)「ポストコロナに向けた金融を超えた支援と事業性評価」神戸大学創立 120 周年記念 社会システムイノベーションセンター主催シンポジウム「ポスト・コロナ時代の社会システムイノベーション」第二部：シンポジウム「コロナ禍をどう乗り越えるかー産官学・地域連携・国際比較」第 2 部-1. 「ポストコロナにおける地域の持続的な成長の実現と地域金融ー金融を超えた支援の重要性」 2022 年 3 月 5 日 (オンライン開催)
2. (報告) “The Role of Regional Banks in SME Financing in Japan: Expanding Their Roles for Regional Revitalization”, Korea Institute of Finance Seminar, Online, August 24, 2021
3. (発表)「日韓台の信用保証機関の効率性に関する研究」日本金融学会 2021 年度春季大会 麗澤大学 (オンライン開催) 2021 年 5 月 29 日 (オンライン開催)

■モデレーター (主催/司会/座長/討論者/パネリスト)

1. (司会)「パネルディスカッション (パネリスト：井上慎治氏・日下智晴氏・須戸裕治氏・宮口美範氏)」神戸大学創立 120 周年記念 社会システムイノベーションセンター主催シンポジウム「ポスト・コロナ時代の社会システムイノベーション」第二部：シンポジウム「コロナ禍をどう乗り越えるかー産官学・地域連携・国際比較」第 2 部-1. 「ポストコロナにおける地域の持続的な成長の実現と地域金融ー金融を超えた支援の重要性」 2022 年 3 月 5 日 (オンライン開催)
2. (審査委員長) にししんハイスクール・ものづくりコンテスト 2021 西尾信用金庫主催 (於 西尾コンベンションホール) 2021 年 12 月 25 日
3. (予定討論者) 打田委千弘氏：「COVID-19 が経営者の事業承継の行動にどのような影響を与えたのか？ー沖縄のアンケート調査からー」生活経済学会中部部会 2021 年 12 月 11 日 (オンライン開催)
4. (司会)「パネルディスカッション (パネリスト：臼井恵美子氏・周燕飛氏・チャールズ・ユウジ・ホリオカ氏・前野彩氏・渡邊昌一氏)」神戸大学経済経営研究所・社会システムイノベーションセンター主催シンポジウム「ポストコロナの家計経済を考えるー持続可能な地域社会を創るためにー」 2021 年 11 月 30 日 (オンライン開催)
5. (討論者) 宮川大介氏・伊藤洋二郎氏：「中小企業の生産性ダイナミクス：退出形態のデータを用いた実証分析」日本銀行金融研究所ファイナンス・ワークショップ 2021 年 11 月 5 日 (オンライン開催)
6. (司会) 特別講演 金融庁監督局長・栗田照久氏：「金融行政の現状と課題」日本保険学会令和 3 年度大会 2021 年 10 月 24 日 (オンライン開催)
7. (大会実行委員長) 日本保険学会令和 3 年度大会 2021 年 10 月 23 日・24 日 神戸大学 (オンライン開催)

8. (プログラム委員) 日本金融学会 2021 年度秋季大会 2021 年 10 月 16 日・17 日 (オンライン開催)
9. (討論者) 「『OECD 教育 2030』と 3 つの金融能力—リテラシー・コンピテンシー・ケイパビリティ—」(報告者 伊藤 宏一氏) 生活経済学会第 37 回研究大会 2021 年 6 月 20 日 (オンライン開催)
10. (司会) 「共通論題 産学連携による大学における金融経済教育の取り組みの課題」生活経済学会第 37 回研究大会 2021 年 6 月 20 日 (オンライン開催)
11. (討論者) 「銀行業における私益性と公益性の評価: 我が国地方銀行のデータを用いた記述統計分析」(中岡 孝剛氏・庄司 豊氏・吉原 清嗣氏) 2021 年 5 月 29 日 (オンライン開催)
12. (司会) 「金融庁職員の知られざる 10 の活動」(特別講演: 金融庁長官 氷見野良三氏) 2021 年 5 月 29 日 (オンライン開催)

■記事 (解説/コメント/インタビュー記事/寄稿)

1. 「環境省の事業に協力して ESG 地域金融の普及に取り組む」神戸大学環境保全推進センター『神戸大学環境報告書 2021』 17 頁 2021 年 9 月
2. 「学術論文の書き方について」『日本 FP 学会ニューズレター』 Vol.3, No.1 2021 年 9 月
3. 「学園の窓: 経済経営研究所長に就任して」『凌霜』 第 429 号 30-31 頁 2021 年 4 月

<社会活動>

■所属学会

1. 日本経済学会
2. 生活経済学会
3. 日本保険学会
4. 日本 FP 学会
5. 日本学術会議
6. 日本金融学会

■学会役員

1. 2021 年 生活経済学会副会長 (～現在)
2. 2019 年 日本経済学会連合評議員 (生活経済学会代表) (～2022)
3. 2019 年 生活経済学会 学術交流委員会委員長 (～2022)
4. 2018 年 日本保険学会理事 (～現在)
5. 2018 年 日本保険学会・学会賞選考委員会委員 (～2020 年)
6. 2015 年 日本 FP 学会理事 (～現在)
7. 2012 年 日本経済学会代議員 (～2016) (2020 年～現在)
8. 2011 年 日本学術会議連携会員 (～現在)
9. 2009 年 生活経済学会理事 (～2015 年) (2017 年～現在)
10. 2008 年 日本金融学会常任理事 (～2014 年) (2016 年～現在)
11. 2006 年 日本金融学会理事 (～2014 年) (2016 年～現在)

■プログラム委員

2021 年 10 月 日本金融学会 2021 年度秋季大会 オンライン開催

■学外委員その他

- 2021年 愛知県信用保証協会 外部評価委員会委員（再任～2024年9月）
- 2021年 TCER（公益財団法人 東京経済研究センター）フェロー
- 2021年 全国信用組合中央協会 信用組合の将来を考える有識者会議メンバー（再任～2022年7月）
- 2021年 名古屋証券取引所アドバイザーリーコミッティー委員（再任～2022年7月）
- 2021年 特許庁事業「令和3年度中小企業知財経営支援金融機能活用促進事業」・知財金融委員会座長（～2022年3月）
- 2021年 株式会社地域経済活性化支援機構・社外取締役、地域経済活性化支援委員（再任～2022年6月）
- 2021年 預金保険機構 預金保険料率に関する検討会委員（～2022年1月）
- 2021年 日本貸金業協会理事・副会長・自主規制会議議長（～2023年6月）
- 2021年 名古屋大学高等研究院院友（再任～2026年3月）
- 2021年 凌霜会理事（～2023年3月）
- 2021年 金融庁 火災保険水災料率に関する有識者懇談会委員（～2022年3月）
- 2021年 環境省事業 令和3年度 地域におけるESG金融促進事業意見交換会委員（～2022年3月）
- 2021年 大阪府 国際金融都市OSAKA推進委員会アドバイザー（～2022年3月）
- 2021年 国土交通省「独立行政法人住宅金融支援機構業務実績評価有識者会合」委員（～2022年3月）
- 2021年 損害保険事業総合研究所・損害保険講座講師（再任～2022年3月）
- 2021年 損害保険事業総合研究所・損害保険研究費助成制度・選考委員（再任～2022年3月）
- 2021年 兵庫県 信用保証協会運営等有識者会議委員（委員長）（再任～2024年3月）
- 2021年 アジア太平洋研究所 リサーチリーダー兼上席研究員（～2022年3月）
- 2021年 野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センターアドバイザー（再任～2022年3月）
- 2021年 財政制度等審議会 財政投融资分科会 専門委員（再任～2023年3月）
- 2021年 名古屋大学客員教授（再任～2022年3月）
- 2021年 中小企業政策審議会臨時委員（～2022年2月）
- 2021年 日本証券業協会「金融経済教育を推進する研究会」委員（～2023年3月）
- 2021年 東海財務局・金融行政アドバイザー（～2023年3月）
- 2021年 Korea Institute of Finance 外国人研究員（～2021年7月）
- 2021年 中小企業庁 商工中金の経営及び危機対応業務に関する評価委員会（～2023年1月）
- 2021年 銀行業務検定協会 銀行業務検定試験・事業性評価検定委員長（～2022年12月）

月)

- 2021年 京都市指定金融機関選定委員会委員 (～2021年8月)
- 2021年 信用中央金庫・地域・中小企業研究所「信金中金月報」編集委員 (～2021年8月)
- 2021年 経済産業研究所 企業金融・企業ダイナミクス研究会 プロジェクトメンバー (～2021年10月31日)
- 2021年 ㈱アイ・アールジャパン ホールディングス 社外取締役
- 2021年 全国銀行学術研究振興財団・選考委員
- 2021年 公益財団法人・兼松貿易研究基金 理事 (～2022年6月)
- 2021年 日本商品委託者保護基金・普及啓発等事業検討評価委員会 委員
- 2020年 金融審議会・銀行制度等ワーキンググループ委員
- 2020年 東京商品取引所 市場取引監視委員会委員 (～2022年11月)

<国際交流活動>

1. Jianjun SUN, School of Economics and Management, Hainan University, Haikou, China との中国金融に関する共同研究 (Emerging Markets Finance and Trade 誌に2019年に共著論文を発表)
2. Farkhanda Shamim, Department of Economics and Finance, University of Bahrain, Sakhir, Bahrain との金融の電子化に関する共同研究 (Journal of Economic Studies 誌に2017年に共著論文を発表)

教授 島村 靖治 (Yasuharu SHIMAMURA)

- ・ 計算社会科学センター/データベース部門
 - ・ 大学院国際協力研究科
-

研究活動

<研究業績>

【論文】

■レフェリー付論文（査読あり）

1. [“The Impact of Better Access to Improved Water Sources on Health, Schooling, and Water Collection of Girls and Boys in Rural Zambia”](#)
Yasuharu Shimamura, Satoshi Shimizutani, Shimpei Taguchi, Hiroyuki Yamada
Journal of Development Studies 2022年3月 査読有り
2. [“Economic Valuation of Safe Water from New Boreholes in Rural Zambia: A Coping Cost Approach”](#)
Yasuharu Shimamura, Satoshi Shimizutani, Shimpei Taguchi, Hiroyuki Yamada
Water Resources and Economics 37 100192-100192 2022年1月 査読有り
3. [“The Effects of Women’s Self-Help Group Participation on Domestic Violence in Andhra Pradesh, India”](#)
Nozomi Sato, Yasuharu Shimamura, Susana Lastarria-Cornhiel
Feminist Economics 28(1) 29-55 2022年1月 査読有り
4. [“Information Acquisition and Conservation Farming Practices for Sustainable Agriculture in Rural Vietnam”](#)
Quynh Anh Le Thi, Yasuharu Shimamura, Hiroyuki Yamada
Asian Journal of Agriculture and Development 18(1) 32-48 2021年6月 査読有り

■掲載論文（査読なし）

□掲載論文

1. [インド農村部における女性自助組織活動と全国農村雇用保障法に関する実証分析](#)
佐藤 希, 島村 靖治
国民経済雑誌 223(6) 57-71 2021年6月

□未掲載論文(DP/WP)

1. [“The Gendered Impact of Rural Road Improvement on Schooling Decisions and Youth Employment in Morocco”](#)
Yasuharu Shimamura, Satoshi Shimizutani, Shimpei Taguchi, Hiroyuki Yamada
Keio-IES Discussion Paper Series DP2022-001 2022年1月
2. [“Economic Valuation of Safe Water from New Boreholes in Rural Zambia: A Coping Cost Approach with Estimates of Internal Rate of Return”](#)
Yasuharu Shimamura, Satoshi Shimizutani, Shimpei Taguchi, Hiroyuki Yamada
Keio-IES Discussion Paper Series DP2021-009 2021年4月

【その他】

<学会報告等研究活動>

■報告（学会報告/会議報告）

1. (学会報告)[ベトナム中部における新型コロナウイルス感染症の医療サービス利用への影響](#)

国際開発学会第32回全国大会 2021年11月20日

■モデレーター（主催/司会/座長/討論者/パネリスト）

1. (座長)[Agriculture](#)

国際開発学会第32回全国大会 2021年11月20日

<社会活動>

■所属学会

1. 開発経済学会
2. 日本国際保健医療学会
3. 国際開発学会
4. 日本経済学会

<国際交流活動>

- ・ JICA（国際協力機構）研究所との共同研究
「ミャンマーにおける都市給水事業に関する実証研究」をアジア工科大学院と共同で実施。
- ・ JICA（国際協力機構）研究所との共同研究
「モロッコにおける地方道路整備事業に関する実証研究」を慶応大学と共同で実施。
- ・ JICA（国際協力機構）研究所との共同研究
「ザンビアにおける深井戸建設事業に関する実証研究」を慶応大学と共同で実施。

准教授 高槻 泰郎 (Yasuo TAKATSUKI)

- ・ 計算社会科学センター/データベース部門
 - ・ 経済経営研究所
-

研究活動

<研究業績>

【著書（分担執筆）】

1. 「勝手向（財政）に関する意見書について」熊本大学永青文庫研究センター編『永青文庫叢書 細川家文書 意見書編』 吉川弘文館 2022年3月 391-397頁
2. 「畿内の肥料取引と農村」武井弘一編『イワシとニシンの江戸時代—人と自然の関係史—』 吉川弘文館 第II部第二章 2022年2月 133-154頁
3. 「米市場・両替屋—江戸時代経済の中枢を支えた仕組み—」平井健介・島西智輝・岸田真編著『ハンドブック日本経済史—徳川期から安定成長期まで—』 ミネルヴァ書房 第I部8 2021年12月 34-37頁
4. 「小西新右衛門の大名貸と藩債処分」飯塚一幸編『近代移行期の酒造業と地域社会—伊丹の酒造家小西家—』 吉川弘文館 第一部第一章 2021年11月 16-54頁
5. 「大坂金融商人の成長と領国経済」今村直樹・小関悠一郎編『熊本藩からみた日本近世—比較藩研究の提起—』 吉川弘文館 第II部第一章 2021年9月 112-150頁
6. 「商品取引所」社会経済史学会編『社会経済史学事典』 丸善出版 2章 60-61頁 2021年6月
7. 「書信・信号」社会経済史学会編『社会経済史学事典』 丸善出版 10章 402-403頁 2021年6月

【論文】

■掲載論文（査読なし）

□掲載論文

1. 「投機かリスクヘッジか—堂島米市場再考—」（上東貴志との共著）『経済史研究』 第25号 2022年1月 31-57頁
2. 「近世期市場経済における商秩序」『法制史研究』70号 2020年3月 115-121頁

未掲載論文(DP/WP)

1. “Climate Changes and the Market Economy: The Case of Early Modern Japan,” (with Masahiko Shibamoto), *RIEB Discussion Paper Series*, No.DP2022 -11, Kobe University, March 2022

【その他】

1. 「江戸時代に学ぶお金と暮らし—第3回 情報を制する者が相場を制する！—江戸時代のトレーダーたち—」『暮らし塾きんゆう塾』 第59巻 2022年1月 13-15頁
2. 「江戸時代に学ぶお金と暮らし—第2回 現金は危険？江戸の資産運用の実態と背景に迫る—」『暮らし塾きんゆう塾』 第58巻 2021年10月 13-15頁
3. 「幕末維新期の金融市場」『経済セミナー』 721号 2021年7月 115-120頁
4. 「江戸時代に学ぶお金と暮らし—第1回 庶民の金融リテラシーをのぞいてみよう—」『暮らし塾きんゆう塾』 第57巻 2021年7月 14-16頁
5. 「忘れられたイノベーション—徳川日本の達成に何を学ぶか—」『学術の動向』 第26巻第6号 2021年6月 86-91頁
6. 「長期相対融資慣行の形成」『経済セミナー』720号 2021年5月 78-85頁
7. 「大坂金融商人の成長と領国経済」今村直樹・小関悠一郎編『熊本藩からみた日本近世—比較藩研究の提起—』吉川弘文館 第II部第一章 2021年9月 112-150頁

<学会報告等研究活動>

■講演（招待講演/基調講演）

1. （招待講演）京都大学人文科学研究所・共同研究拠点「環境問題の社会史的研究」3月報告会 2022年3月28日 「近世日本の気候変動研究序説—気候・市場・幕藩体制—」京都大学人文科学研究所（オンライン開催）
2. （招待講演）日本銀行金融研究所セミナー 2022年2月15日 「気候変動と市場経済—江戸時代中後期を素材に—」日本銀行金融研究所（オンライン開催）（柴本昌彦との共同報告）
3. （招待講演）大阪狭山市熟年大学一般教養公開講座 2022年1月20日 「知られざる豪商・廣岡家—大阪と共に歩んだ400年—」大阪狭山市文化会館 SAYAKA ホール（大ホール）
4. （招待講演）全日本通訳案内士連盟業務研修 協同組合全日本通訳案内士連盟 2021年6月15日 「江戸時代の『利殖』活動」（オンライン開催）

■報告（学会報告/会議報告）

1. （報告）神戸大学経済経営研究所ウェビナー 藩札から銀行へ～渋沢栄一と明治の金融革命～ 2021年12月5日 「大坂商人が支えた大名財政—融資・藩札発行・産業育成—」神戸大学経済経営研究所（オンライン開催）
2. （報告）第57回経営史学会全国大会 〈統一論題〉 テーマ：豪商の金融史 2021年12月4日 「加島屋久右衛門の創業と成長—業態変化に着目して—」東北大学（オンライン開催）
3. （報告）日本金融学会2021年度秋季全国大会 2021年10月16日 「近世日本金融市場の構造：Relationship Finance と Arm's Length Finance」大阪経済大学（オンライン開催）

■モデレーター（主催/司会/座長/討論者/パネリスト）

1. （パネリスト）神戸大学経済経営研究所ウェビナー 藩札から銀行へ～渋沢栄一と明治の金融革命～ 2021年12月5日 神戸大学経済経営研究所（オンライン開催）
2. （座長）第57回経営史学会全国大会 〈統一論題〉 テーマ：豪商の金融史 2021年12月4日 東北大学（オンライン開催）

3. (座長) 日本金融学会 2021 年度秋季全国大会 2021 年 10 月 16 日 「金融史パネル
商人から銀行へ— 大阪の豪商・廣岡家と日本金融市場—」 大阪経済大学 (オン
ライン開催)

<社会活動>

■所属学会

1. 日本学術会議
2. 政治経済学・経済史学会

■学外委員その他

編集委員

- ・ 政治経済学・経済史学会 (2014 年12 月1 日～)
- ・ 日本経済史研究所 (2019 年6 月1 日～)

学外委員

- ・ 日本学術会議連携会員 (2017 年10 月1 日～)
- ・ 日本学術会議若手アカデミー (2017 年10 月1 日～)

<国際交流活動>

「前近代経済における公共投資の実施形態に関する清朝中国と徳川日本の比較研究」
SNG Tuan Hwee (シンガポール国立大学) と共同研究

特命講師 小代 薫 (Kaoru KOSHIRO)

- ・ 計算社会科学センター/データベース部門
 - ・ 経済経営研究所
-

研究活動

<学会報告等研究活動>

■講演 (招待講演/基調講演)

1. (講演) 「ハイカラ神戸誕生ものがたり」神戸文学館土曜サロン 神戸文学館
2021年8月
2. (講演) 「神戸はなぜハイカラなのか？」第32期さわやか大学
神戸新聞文化センター 2021年6月

■運営 (コーディネーター)

1. (企画運営 プロデューサー/ディレクター)「科学者やエンジニアと共に事業構想する場をつくる防災減災の国際連続ワークショップ KOBE PEER WORKSHOP "MIRAI BOSAI"」(オンライン開催) 2022年3月

<社会活動>

■所属学会

1. 日本建築学会 正会員
2. 応用地域学会 正会員

■雑誌編集

- ・ 学術論文レフリー
『日本建築学会計画系論文集』

■学外委員その他

- ・ こうべ北野町山本通伝統的建造物保存会 顧問
- ・ 神戸布引おんたき茶屋保存会 代表 (「実行委員長」)
- ・ NPO 法人UnknownKobe副理事長
- ・ アーバンデザインセンター神戸 078(UDC078) 理事
- ・ 兵庫県建築士会 一級建築士
- ・ 新修神戸市史「生活文化編」 執筆委員

■その他

(街歩き案内)

- ・ 「ハイカラ神戸の原点、開港場の中枢へ&旧神戸居留地十五番館でのランチ」ちょこっと関西歴史たび、2022年2月9日・19日、3月5日・15日
- ・ 「旧居留地まちあるき」JR 西日本、2022年2月
- ・ 「【神戸旧居留地】タモリさんを案内した研究者と、開港場の中枢へ」まいまい京都、2021年12月

- ・「神戸旧居留地、東遊園地、南京町」西日本私立小学校連合会社会科部会半日研修会、2021年11月
- ・「【神戸北野】タモリさんを案内した研究者と、和洋交じる異人館街へ」まいまい京都、2021年10月
- ・共同事業企画「三木市・大和ハウス・神戸大学『三木市緑が丘地区を対象とした老年期の生活ニーズからみた「理由なき空き家」発生メカニズムと予備軍の実態把握、解決プログラムの提言と共同実施、効果検証まで』」2022年2月
- ・企画「神戸布引おんたき茶屋保存改修計画」2021年12月
- ・提案 内閣府地方創生事業（三木市・地域再生計画）申請内容案作成「まちづくり PPP 事業でローカルエコノミーを効率的に動かし地域課題解決につなげる実証実験—公民学、文理医融合で実現する『安心して住み続けられる街』」2021年9月
- ・「講演会を振り返って」『神戸市北野山本通伝統的建造物群保存地区 地区指定 40周年記念 北野山本通』神戸市文化スポーツ局文化財課 pp.40-41 2021年3月
- ・講演録聞き手「神戸開港 150 年記念 坂本勝比古博士に聞く 神戸北野物語 ～北野町 山本通伝統的建造物群保存地区～」『神戸市北野山本通伝統的建造物群保存地区 地区指定 40周年記念 北野山本通』神戸市文化スポーツ局文化財課 pp.23-39 2021年3月

特命講師 田中 克幸 (Katsuyuki TANAKA)

- ・ 計算社会科学センター/データベース部門
 - ・ 経済経営研究所
-

研究活動

<研究業績>

【論文】

■レフェリー付論文

掲載済

1. “New Dataset for Forecasting Realized Volatility: Is the Tokyo Stock Exchange Co-Location Dataset Helpful for Expansion of the Heterogeneous Autoregressive model in the Japanese Stock Market?” (with Takuo Higashide, Takuji Kinkyō, Shigeyuki Hamori), *Journal of Risk and Financial Management*, 2021.

■掲載論文 (査読なし)

□未掲載論文(DP/WP)

1. “Measuring Technological Competition among Big Five Using Patent Data: A Systematic and Scalable Approach Based on Information Retrieval Technology,” (with Takashi Kamihigashi), *RIEB Discussion Paper Series*, No.DP2021-06, Kobe University, March 2021
2. “Technological Competition among the Big Five in Patent Data: A Systematic and Scalable Approach Based on Web-Search Technology,” (with Takashi Kamihigashi), *RIEB Discussion Paper Series*, No.DP2022-09, Kobe University, March 2022

助教 正田 ヴェラ パオラ レイエス
(Vera Paola Reyes SHODA)

- ・ 計算社会科学センター/データベース部門
 - ・ 経済経営研究所
-

研究活動

<研究業績>

【論文】

■レフェリー付論文

□掲載済

1. “A Study on Instructional Humor: How Much Humor Is Used in Presentations?” (with Toshimasa Yamanaka), *Behavioral Sciences*, Vol.12 (1), 7. January 2022

□掲載予定論文 (Forthcoming)

2. “Let's play videos in literacy practice: From let's play to let's learn,” *E-Learning and Digital Media*, Forthcoming

【その他】

<学会報告等研究活動>

■報告 (学会報告/会議報告)

1. “A Study on the Personalities and Patterns of Conversations in Digital Media,” RIEB セミナー, July 2021

<社会活動>

■所属学会

1. 特定非営利活動法人全国語学教育学会

VI. 今後の展望と方針

本センター（CCSS）は、2018年4月に全学基幹研究推進組織として設置されて以降の短期間において、国内外から著名な研究者を招聘し、CCSS School、CCSS Workshop、計算社会科学ワークショップ等の開催を通じ、国内外の研究者コミュニティに貢献するとともに、研究者を目指す学生に対して教育機会を提供してきた。また、独自のリサーチフェロー制度を設立し、現在、国内外17名の著名研究者がリサーチフェローとなっており、研究者コミュニティとの連携強化に努めてきた。さらに、計算社会科学初の国際査読ジャーナルである「Journal of Computational Social Science」の編集を通じ、国際レベルでの計算社会科学の発展に貢献している。これらの活動を通じ、2021年3月の「計算社会科学会」の設立において中心的役割を果たした。本センターは、国内唯一の計算社会科学に特化した研究センターであるだけでなく、計算社会科学における国際的研究拠点として認知されつつある。

国内外における本センターの重要性が今後さらに高まることは確実である中、以下3つの課題があると考えられる。

1. 予算の獲得

現在独自の予算がない状態であり、外部資金により運営されている活動が多い。ただし、本センターの設立目的自体が外部資金獲得を視野に入れたものであるため、今後、外部資金獲得へ向けた取り組みをさらに強化していく方針である。

2. 学内の他組織との連携

これまで学内他組織との連携により外部資金獲得等の実績をあげてきたが、今後も、連携をさらに強化し、外部資金の獲得等に繋げていく方針である。また、学内外における情報発信も強化し、「計算系・情報系に強い神戸大学」というブランド戦略にも貢献する。

3. 若手人材の育成

長期的な人事方針に関しては先端経済経営研究学域の中で議論する必要があるが、特命を含めた任期付若手研究者については、本センターには人材育成の実績がある。今後も、予算も人事ポイントともに状況が厳しい中、外部資金による特命教員等を中心に、若手人材・女性研究者の採用・育成に努めたい。

本センターでは、上記3課題に取り組むとともに、2021年3月に計算社会科学会が設立され、計算社会科学に対する社会的関心が高まりを見せている中、学術的にも社会的にも貢献度の高い研究もさらに強化していく方針である。